

イギリス気質は健在か——質疑応答 219 題

原 田 俊 明

はじめに

2005年4月以来、一般教養科目「イギリス文化論」を担当している。幸か不幸か受講学生から実に多くの質問が寄せられる。尤も本学の学生も日本の学生のご多分に漏れず、衆人環視の中で挙手する英国式は苦手な様子だ。そこで一般教養科目「実践倫理」のやり方に倣い、感想や質問を紙に書かせて授業終了時に回収している。質問には概ね次回の授業で回答するが、質問者の氏名を伏せるため、学生も気兼ねなく質問できるようである。今回『学苑』に発表するに当たって、質問項目のジャンル分けも検討したが、回答の段階で話が逸れていくこともあり、分類作業は行なわなかった。が、なるべく似たテーマ同士で近くに固めるよう心掛けた。

- 01) イギリスと言えば、よく階級差のことが出てきますが、イギリスはそんなに階級差（格差）の大きな社会なのですか？ 暮らしぶりだけではなく、考え方や、喋り方や、友人層まで異なるものなのですか？ ⇒ 確かにその通りです。しかしインドのカースト制度とは異なり、他の階級との交流も一応あります。また、下の階級の人が上の階級に対してペコペコしているわけではありません。それどころか、上の階級のことを激しく批判する傾向があります。
- 02) イギリスは日本よりも格差のひどい社会だと聞きましたが、本当ですか？ ⇒ 2006年6月15日（木）付の英エコノミスト誌（The Economist）によれば、先進諸国の中で所得間格差の最も大きい国は1位から7位の順で、米伊英日豪独仏です。英国は日本より少し不平等ですが、米国ほどではありません。
- 03) 今でも喋り方ひとつで出身階級（お里）が知れてしまうと聞きましたが、それはイギリスに暮らしている人にはごく当たり前のことなのですか？ 身分の探りあいでも嫌な気分になりませんか？ ⇒ はい、そうです。ごく当たり前のことです。しかし若い人（特に学生）の中には本当は中産階級の出身でありながら、わざと労働者階級のような喋り方をする人が多いです。そのほうが「格好いい（cool）」とされているからです。身分の探りあいでも嫌な気分になるかと言えば、個人差があります。現在では以前ほど気にしていないように思います。むしろイギリス人の目には、日本人が相手の年齢や地位に応じて言葉遣いや態度を豹変させる点が奇異に映ります。
- 04) 階級によって話す言葉も、話す話題も大きく違うと聞きましたが、それで本当に会話が成立するのですか？ ⇒ はい、大丈夫です。しかしやはり同じ階級同士で固まる傾向はあります。
- 05) イギリス人俳優はみな同じ喋り方をしている気がしますが、本当に階級で喋り方が違うのですか？ ⇒ はい。同じ俳優でもそこで演じる階級によって違う喋り方をします。一人の俳優が、自分の出身階級とは違っていても階級を演じ分けることができ初めて一流の役者と言えます。

そこが英国人俳優の優れたところですが、だいたい同じ階級を演じることが多いです。

- 06) プチ貧乏な「中の下」階級の人が容認発音 (RP: received pronunciation; 別名 Queen's English) を使ったらどうなりますか? ⇒ バカにされます。しかしサッチャー元首相のように成功した例もあります。元首相のように信念をもって話せば、いつかはバカにされなくなるでしょう。
- 07) イギリスと言えば階級のことが出てきますが、自分が属している階級と、他人がその人に対して抱いている階級のイメージがずれていることはないのでしょうか? ⇒ 確かにそのようなケースは存在します。そしてそのような「意識のずれた」人は嘲笑の対象です。
- 08) 日本人がイギリスに行って、階級を詮索されたりしますか? ⇒ 「はい」とも「いいえ」とも言えます。観光客は基本的にはみな同じに見えてしまうので、英国人の目には、中堅(中の中)または「中の下」階級の集団のように映ります。しかし話題のもって行き方(例えば、オペラやワインの話)や行動様式(例えば、ゴミ箱を見つけるまでゴミを捨てずにいつまでも持っている行為)で、「君はいかにも中産階級だね」とからかわれます。なお、イギリスの学生は中産階級出身者が多いながら、労働者階級的な生活様式を「格好いい(cool)」として真似る傾向があります。
- 09) イギリスの若者の間で労働者階級が「格好いい(cool)」とされるのはなぜですか? ⇒ ロック・ミュージックやポップ・ミュージックの影響が強いのではないのでしょうか。ちなみにこれらのミュージシャンの多くは、本当は「中の下」階級の出身でありながら労働者階級っぽく振舞います。成功して金持ちになってもそうです。
- 10) イギリス人は他の階級に興味を持たず、同じ国に居ながらまるで違う国に生活している感じですが、恋愛も階級で分かれてしまうのですか? ⇒ ご安心ください。インドのカースト制度とは違い、恋愛や結婚はきわめて自由です。しかし上流階級は上流または大金持ちの「中の上」階級で一緒になる傾向があります。
- 11) 最下層の人々は国民の税金でまかなわれた生活保護を受けてなんとか生活していると聞きましたが、もしも階級が消滅したら最下層の人々の生活はさらにひどくなりますか? ⇒ 私はそうは思いません。階級がなくても税金は高いままでしょうから、最下層の人は大丈夫です。但し、この質問自体が自家撞着(矛盾)の論法に陥っています。階級が本当に消滅すれば、最下層階級(underclass)という概念も消滅しますので。
- 12) イギリスの階級制度は「差別」につながりませんか? ⇒ はい、かつて(特に第二次世界大戦前まで)は身分社会でしたので、差別という側面もありました。その点は日本も同じです。しかし現在では差別はないと言って良いと思います。
- 13) 今後ともイギリスの階級制度は続いて行くのでしょうか? ⇒ はい、階級はゆるやかに存続して行きます。しかし近頃は制度というよりもむしろ、人々の意識の中に階級が残っている、という程度です。
- 14) 移民が中産階級より上になることは絶対にはないのですか? ⇒ まず無理です。しかしイギリスで言う「中の上階級」とは、日本で言う「金持ちセレブ」のことです。移民ながら大金持ちの「中の上」階級にのし上がった人は過去に多数存在します。近年ではダイアナ妃とパリで事故死したエジプト人の実家アル・ファイド家があります。
- 15) イギリスの上流階級の人たちはどんな仕事をしていますか? ⇒ 環境保護団体や児童虐待防止団体などの公益法人の名目上の会長をしている人が多いです。中には世襲または一代限りの貴

- 族院議員（上院議員）を務めている人も居ます。但し、議員とは言っても無給です。また、王室の人たちは英国全土の国立大学の名目上の学長も務めています。大学の運営は副学長が行ないます。
- 16) 爵位の名前、たとえばコーンウォール公爵（Duke of Cornwall）と、その地位に就いている人物、たとえば皇太子 Prince Charles こと Charles Windsor の姓が違うようですが、どのような法則があるのですか？ ⇒ 日本の爵位は家柄そのものに与えられる称号です。大日本帝國の時代には、苗字に爵位を付けて、たとえば「伊藤公爵」や「東郷伯爵」や「武者小路子爵」のように呼びました。しかしヨーロッパの爵位は貴族の家系そのものに対して与えられるのではなく、その爵位が担当する行政区域（公爵領など）に対して与えられるものです。爵位を保持することとは、即ち、こうした領地の保持のことなのです。ヨーロッパの名門家系は複数の爵位を保持している場合もあります。
- 17) イギリスで何年も生活していても上流階級に会うことは皆無に近いと聞きましたが、階級によって住む地域や職場が違うからですか？ ⇒ はい。その通りです。日本で長年暮らしていても皇族方とお知り合いになる機会がないのと同じです。しかし私は日本の或る大学で非常勤講師をしていた頃、いつも何となく一緒に食事をして世間話をするスコットランド人がいました。かつて教鞭をとっていたイタリアの国立大学の給与不払い事件で原告として争っているという話ばかりでした。スコットランド人の割にはきれいな英語を話す男だと思っていたら、別のスコットランド人から「あいつは実は名門貴族だということが貴族名鑑で判明した」と教えられました。意外なところで貴族に出くわしました。話は変わりますが、イギリスで住んでいた寮の別の階には、フィンランド貴族（但し、スウェーデン系）が住んでいました。スウェーデン人の友人が、苗字の前に av が付いているのを発見したので、貴族だと判明しました。
- 18) イギリスの医師はどの階級に属するのですか？ ⇒ 一般医（GP: general practitioner）は中堅（中の中）階級に属しますが、民間医療機関でバリバリ稼ぐ専門医は「中の上」階級です。医師の世界にも格差があります。
- 19) イギリスでは音楽家はどの階級に属するのですか？ ⇒ 中産階級です。クラシック系は中堅（中の中）または「中の上」階級、ロックやポップは「中の下」ですが、労働者階級っぽく振舞っています。
- 20) 作曲家エルガーの名前が Sir Edward Elgar と書いてありましたが、名前に「サー」がつくほど身分の高い人なのですか？ ⇒ はい。そうです。しかしエルガー（Edward Elgar, 1857-1934）が生まれたときの階級は「中の下」でした。作曲家として成功を収め、立身出世して「中の上」階級に上り詰めました。「中の上」と「中の下」では雲泥の差があります。1904年、エルガー 47歳の時、国王エドワード七世によって騎士（knight）に叙せられた後、公式には Sir Edward Elgar と呼ばれるようになったのです。なお、「サー」の称号がついた人に直接呼びかける時は、「ミスター・エルガー」などと言ってはいけません（歴代の国王は時々これをやりますが、国王だから許されるのです）。「ミスター」とは平民男という意味です。正しくは「サー・エドワード」です。「サー・エルガー」とは絶対に言いません。苗字で呼ぶ場合は、単に「エルガー」またはフルネームで「サー・エドワード・エルガー」です。イギリスのしきたりは日本人には面倒です。
- 21) ワーズワースのような有名な文学者は、どの階級に分類されますか？ 階級は人によってバラバラですか？ ⇒ まず、ワーズワース（William Wordsworth, 1770-1850）は比較的裕福な中産

階級です。20世紀に入るまでは、文学者は中産階級が主流でした。しかし18世紀後半から19世紀初頭にはホレス・ウォルポール (Horace Walpole, 1717-97) やバイロン卿 (Lord Byron, 1788-1824) のような上流階級の人も活躍しました。20世紀に入ると H. G. ウェルズ (H. G. Wells, 1866-1946) のような貧しい「中の下」階級や、D. H. ロレンス (D. H. Lawrence, 1885-1930) のような労働者階級の出身者も一流作家として活躍します。19世紀終盤辺りから徐々にではありますが、教育が労働者階級にも広まるようになり、一握りの鬼才・秀才が頭角を現し始めたのです。

22) イギリスでは一般人でもよく詩を読むのですか？ ⇒ はい。主に中産階級の人を読みます。街の本屋に行くと、有名な詩人 (現役も故人も) の本がよく置いてあります。日本の明治以降の新体詩 (および新体詩的な文体の翻訳詩) では、ポエムの持つ音楽性は殆ど失われています (尤も上田敏 (1874-1916) のような例外もありますが)、イギリスの詩はそれ自体が音楽のようなものです。だからこそ国民にいまだに支持されているのでしょう。

23) 文化圏によって異なるタブーな質問があると聞きました。日本人男性に聞いてはいけない質問は「出身大学はどこですか？」だそうです。どういう所に勤務して、どの程度の年収があるか分かってしまうからです。また、アメリカ人に聞いてはいけない質問は「どこに住んでいますか？」だそうです。住んでいる場所から低所得層の地域などと分かってしまうからです。さて、イギリスにはタブーな質問はありますか？ ⇒ イギリスもアメリカとやや近いものがあります。しかしそこまで厳密というか極端ではありません。郵便記号 (イギリスでは postcode, アメリカでは ZIP code, フランス語直訳の国際英語で postal code, 日本で言う郵便番号) を直接訊くのはタブーとされています。しかし銀行との公的な取引では (母親の旧姓と並んで) よく使う記号です。たとえば SW という同じロンドン南西部の記号でも、SW1 や SW3 や SW7 や SW19 や SW20 が posh とされ、SW2 は危険地域とされています。また、実に興味深い方言を聞いた際に、「あれはどこの方言だろう」と第三者が詮索することはしばしばありますが、これを当の本人に直接訊くのはタブーとされています。

24) 階級意識の強いイギリスでは小中学校 (primary and secondary schools) の児童・生徒 (pupils) でも階級を意識しますか？ ⇒ 分かりません。これには個人差があります。一般には親の抱く階級意識を子供も共有します。また、思春期辺りからそれに反発するようになるのも、日本と似ています。

25) イギリスの学校はすべて国立なのですか？ ⇒ いいえ。私立も僅かながら存在します。日米と違って県立や州立や市立は存在せず、イギリスで公立と言え、すなわち国立です。イギリスの小中高の約 92% が国立で、残り約 8% が私立です。大学に関しては約 99.1% が国立で、残り 0.9% が私立です。要するに私立大学は 1 校しか存在しません。2 年で学士号が取得でき、学生は発展途上国のドラ息子・ドラ娘ばかりというバッキンガム大学が唯一の私立大学です。なお、イングランドの大学では学士号取得まで通常 3 年で済みます。

26) 日本人がイギリスの全寮制学校 (boarding school) や Oxbridge (Oxford and Cambridge) のような名門大学に入った場合、何か効果はありますか？ ⇒ 私はそのような実体験がないので、うまく回答できません。私の留学した大学はモダンに過ぎますし、Oxbridge のような名門でもありません。古い本ですが、池田潔『自由と規律 イギリスの学校生活』(岩波新書 初版 1949 年、改訂版 1963 年) を一読ください。この本は半世紀に亘って版を重ねており、もちろん本学の図書

館でも所蔵しています。

- 27) イングランドの若者の半数近くが16歳で、日本で言う「中卒」のように教育から遠ざかってしまうと聞きましたが、中卒で社会に出てしまって、いい仕事はあるのですか？ ⇒ 16歳で労働市場に参入した若者は、例えば肉屋の小僧 (a butcher's boy) や事業所の使い走り (an office boy) などからスタートします。手に職をつけるため、配管工の見習い (a plumber's apprentice) になったり、新聞社の雑用 (a newspaper boy) をやって、技能を身に付ける人もいます。日本の大手新聞の記者は大抵が一流大卒で、悪く言えば世間知らずの偏差値エリートがずっと同じ新聞社に勤務して記事を書きます。一方、イギリスでは低学歴の叩き上げの人が、様々な新聞社を渡り歩きながら仕事をこなすこと (小さな会社から始めて最終的には大手に就職) が可能です。日本ほどの学歴社会ではないために可能なのです。
- 28) イギリスでは16歳で義務教育が終わると聞きましたが、後の2年間は日本で言う高校のような感じですか？ ⇒ はい。日本で言う「進学校」と「予備校」を足したような感じです。イギリスではこの2年間で Sixth Form (第6学年) と呼んでいます。自分の通っている中等学校に、まるで大学院のようにそのまま残って Sixth Form の勉学をこなす生徒もいますし、自分の学校にそのようなコースがない場合は、この2年間だけに特化した Sixth Form college に通います。ここで言う「コレヂ」は大学や短大ではありません。
- 29) イギリスの大学にはどうすれば正規入学できますか？ ⇒ イギリス人がイギリスの大学に入学するには、通常は16歳で二年制の Sixth Form (第6学年) に入って、18歳で国家資格試験 A-Levels を受験せねばなりません。しかしイギリス在住でない人には別の方法もあります。それは国際バカロレア資格 (International Baccalaureate) です。本学内の British School in Tokyo Showa でも生徒に国際バカロレア資格を取らせるよう教育しています。これを取得すれば、日本の筑波大学、上智大学、国際基督教大学 (ICU)、京都大学法学部などを含む世界中の多くの有名大学に入学できます。しかし日本人でこの資格を取得するのは (学費が年間250~300万円もするインターナショナル・スクールにでも通っていない限りは) 至難^{わざ}の業です。日本人で一番簡単にイギリスの大学に正規入学するには、意外なことに大学院の修士課程が便利です。実際、私もその一人です。必要書類は英文による大学卒業証明書 (または卒業見込証明書)、大学の英文成績証明書、イギリスの IELTS (International English Language Testing System) またはアメリカの TOEFL (Test Of English as a Foreign Language) のスコア (TOEIC は不可)、英文推薦状2~3通、奨学金給付機関による英文証明書 (私費留学の場合は銀行口座の英文証明書) です。私費よりも奨学金を出してくれるスポンサーが付いていた方が有利です。書類の他に面接または国際電話面接を課している大学もあります。大学の授業は講義形式の場合、通常60分です。しかし休み時間を公式に設けていないので、教員はわざと遅く始めて早く終わります。したがって講義は正味45~50分程度です。授業中に眠っている学生は皆無で (出欠をとらないせいか、眠ければ最初から出席しません)、教員に対して鋭い質問を浴びせたり、平気で議論を吹っ掛ける学生もいます。教員は丁寧にこれに対応します。アメリカなどと違って留年という制度がないので、成績が悪ければすぐに追い出されてしまいます。学費はイギリス人学生、欧州連合 (EU) の学生、その他の学生で差別待遇です。日本人の場合、学費だけで年間約150万円支払います。生活費も少なくとも年間150万円なので、合わせて300万円は必要です。なお、入学金や施設費などはあり

ません。私が留学した 1990 年代中盤は学費と生活費を合わせて 200 万円あれば、なんとかなりましたが、今は昔です。奨学金給付機関（たとえばロータリー財団）を自分で見つけて試験や面接を受け、足りない分は出世払いということで親に出してもらうのが一番現実的なやり方です。

- 30) イギリスの大学は日本など非 EU 諸国の学生から高額な学費を取っていると聞いて悲しくなりました。⇒ まあ、そう言わずに彼らの事情を考察してみましょう。まず、イギリスの大学は国際的に非常に人気が高く、その上、イギリスに住みたいという憧れを抱く人が世界中にたくさん居ます。また、英語という言語は他の言語に比べて簡単です。簡単すぎると言ってもいいでしょう。ドイツやフランスの大学は、いくら学費が安いとはいえ、言葉の厚い壁があるので、外国から学生が殺到することはありません。一方、イギリスでは外国人から高額な学費を取り立てないと大学がパンクしてしまい、イギリス人学生の席（または籍）がなくなってしまいます。大学教育の質を維持するためには致し方ない措置です。また、EU 諸国の学生には安い学費で良しとするのは、イギリスの学生が EU 諸国の大学で優遇されていることを踏まえた相互協約によるものなので、これも日本がとやかく言うことではありません。
- 31) イギリスの学校の近所には、通学時間帯に日本で言う「緑のおばさん」のような lollipop lady や lollipop man が立っていると聞きましたが、イギリスは信号機が少ないのですか？ ⇒ 日本と比べると確かに少ないです。但し、ロンドンの中心街は例外で、日本同様に信号機は多いです。イギリスでは信号機の代わりにラウンダバウト (roundabout) と呼ばれるロータリーを多用して、渋滞を防いでいます。欠点としては、車を運転して初めて行った土地で簡単に道に迷ってしまう可能性がある点です。
- 32) 日本の「緑のおばさん」は高給取りの公務員だそうです。イギリスの子供にとって「緑のおばさん」的存在の lollipop ladies や lollipop men はボランティアですか？ ⇒ いいえ。地方自治体に嘱託で雇われています。多くは年金生活者が小遣い稼ぎでやっています。日本で言えば、郊外の駅前違法駐輪自転車を取り締まっているお爺さんたちのような位置づけです。
- 33) イギリスは 5 歳から 16 歳まで、日本より 2 年も長く義務教育を行なっているようですが、勉強内容は日英でどちらの方が程度が高いのですか？ ⇒ 分かりません。しかし私の印象（裏付け資料なし）で回答すると、外国語学習はイギリスの方が日本より少しだけ進んでいます。しかしイギリスの外国語教育は、ヨーロッパで最低レベルです。国語や歴史に関してもイギリスの方が日本よりは進んでいます。数学では逆に日本の方が進んでいます。理科については分かりません。日本の学校給食はイギリスの百倍は優れています。イギリスの給食のおばさんたち (dinner ladies) は、適切な教育や訓練を受けていないため、不健康なジャンクフードばかりを生徒に食べさせています。しかも喫煙者が多く、プロ意識がありません。
- 34) イギリスの学校には栄養士の資格がないと調理できないなどの法令はないのですか？ ⇒ ありません。その代わりに、「学校の料理に塩を入れるな」というバカな規則があります。そのくせ化学調味料を使った加工食品だらけです。
- 35) イギリスにはプロの栄養士はいないのですか？ ⇒ いることはいるのですが、病院などの医療機関や、(上流および「中の上」階級向け) 高級老人ホームや、サッカーチームなどのプロスポーツの場で活躍しています。
- 36) 日本では公立の小中学校で給食が出されますが (但し、非常に安価ながら有料)、イギリスには

- そのような制度はないのですか？ ⇒ 日本の給食制度は世界でも珍しい制度です。第二次世界大戦直後にマッカーサー総司令部（GHQ）が、日本の欠食児童を見かねて始めたことです。私は学生時代にアメリカ人学生から、「日本の学校ではお昼に皆で同じものを食べるなんて嫌なことだな。日本人でなくて良かった!」などと聞き捨てならないことを聞いたので、すかさず「それは日本を占領した米軍が始めたのだ」と言ってやりました。すると「そんな制度を押し付けてゴメン」と言われてしまいました。話を元に戻すと、イギリスの school lunch または school dinner（昼でもディナーつまり正餐という言い方をするのは労働者階級）はチケット制です。チケットを買った生徒だけが食べる（学校によっては食堂に入ること）が許されます。食事をしに一時帰宅することも大抵の学校では許可されています（但し、小学校低学年を除く）。近年日本では給食費の未払い問題が深刻になってきたので、イギリスのようなチケット制も一考に値します。
- 37) イギリス人の親は、自分の子供に弁当を持たせたりしないのですか？ ⇒ 昔は複数のサンドイッチ（sandwiches）とリンゴ（日本のリンゴより小振り）を1つ持たせました。しかし最近ではポテトチップス（イギリス英語で crisps）や、糖類と脂質でベッタリの Mars bar というチョコレートや、糖類と化学物質たっぷりの炭酸飲料（イギリス英語で fizzy drinks）を持たせる親が多いです。「子供が喜ぶから」という理由ですが、無意識の児童虐待のような気もします。
- 38) イギリスのリンゴは不味いと聞いたことがあります、本当ですか？ ⇒ そんなことはありません。それはもしかして黄色っぽくてゴツゴツした不恰好な調理用リンゴ（cooking apples）のことですね。このリンゴは糖度が0%に近く、そのまま食べると信じがたいほど酸っぱいのですが、アップルパイや、チキンに添えるソースにすると最高に美味しくなります。これとは別に、イギリスの普通のリンゴを齧ってみれば、絶妙に美味しいことが分かります。嘘ではありません。一方、日本のリンゴは品種改良のし過ぎで人工的な味がします。日本では辛うじて「紅玉」だけが、イギリスの「コックス（Cox）」という品種の味に近いです。
- 39) 長い歴史を誇るイギリスに、フランス料理やイタリア料理のような立派な料理が生まれないのはなぜですか？ ⇒ 作物の育ちにくい風土という要因の他に、宗教が影響しています。新教（プロテスタント）は勤勉・禁欲を旨とする宗派です。ドイツ、オランダ、北欧諸国などの新教国と並んで、イギリスも建前上はプロテスタントですので、真実な料理が育たないのです。最近では随分変わりましたが、食べ物のことを話題にするのは下品であり、食事中にあれこれ会話するのも下品であるとする考え方がありました。この点では日本も似たり寄ったりで、戦前生まれの日本人は食事中に会話するのを親に禁じられていました。また、日本では身分の高い人は食事をする姿を人前で晒すのは恥と考えていました。
- 40) 『イギリスはおいしい』という本を読みました。野菜をぶつ切りにしてクタクタに煮込んだ料理がイギリスではよく食されていると書いてありましたが、今はあまり食べないのですか？ ⇒ 今でも食べます。ところで『イギリスはおいしい』（平凡社、1991）の著者は「リンボウ先生」として林望（b. 1949）という元学者で現随筆家です。林氏は1980年代にケイムブリヂ大学図書館で研究活動をしていた頃、Lucy Boston（1892-1990）という有名な童話作家の大きな屋敷でホームステイするという類い稀な恵まれた学究生活を送った人です。伯父の林健太郎（1913-2004）が東大総長や参議院議員を歴任したことで分かるように名門家庭（establishment）（イギリス的には「中の上」階級）の出身だからこそ味わうことのできた英国生活なのです。

- 41) 欧米人には菜食主義者 (vegetarians) が多いようですが、なぜ彼らはベジタリアンになるのですか？ ⇒ 動物愛護や健康問題や環境問題が大きな理由です。中産階級の若者 (特にティーン) に多いです。
- 42) イギリスでもアメリカのように寿司をはじめとした日本食に人気がありますか？ ⇒ はい。近年益々人気が出てきています。有名なところでは、Itsu (「イツ」とは When の意味なのか、或いは「逸」ということで Excellent の意味なのかは不明) という英国人経営の日本料理店があります。このレストランの或る店舗 (既に閉店) では、ロシア人の元スパイ毒殺事件 (リトビネンコ事件) が起こったことで日本でも知られるようになりました。また、ここの経営者はサンドイッチ・チェーン PRET A MANGER (Prêt à manger プレタムオンジェー; フランス語で「すぐに食べられる」の意) を経営しています。英語で READY TO EAT と言うとマズそうですが、フランス語にすると洒落た感じがします。このサンドイッチ・チェーンのメニューの筆頭には 2 ポンド (約 300 円) の味噌汁 (miso soup) が載っています。具はあまり入っていませんが、味は悪くありません。
- 43) 日本からイギリスに輸出されている生鮮品で消費量の多いものは何ですか？ ⇒ 消費量については回答できません。秋になると果物の梨 (nashi) がスーパーマーケットで洋ナシ (pear) の近くに売られています。春にはミカン (satsuma) が売られますが、大抵は南米ウルグアイ産です。椎茸 (shitake mushrooms; これは shiitake の誤記) も一部のグルメの間で受けています。他に生鮮品ではありませんが、チューブに入った練りワサビ (wasabi), 瓶に入った醤油 (soy sauce) が、寿司ブームに乗ってよく売られています。粉末の味噌汁 (miso soup) も値段が高い割に健康志向の人の間で受けています。
- 44) イギリスには「クッキー」という言葉がなく、「ビスケット」と言うのだと聞きましたが本当ですか？ そもそもクッキーとビスケットの違いは何ですか？ ⇒ まず、cookie(s) はアメリカ英語です。そして biscuit(s) はイギリス英語です。食品そのものに違いはありません。但し、日本ではアメリカ風の甘くてやや柔らかいのを「クッキー」と称し、イギリス風に糖分控え目で硬いのを「ビスケット」と呼んでいます。
- 45) イギリスで食べ歩きできる食べ物はありますか？ ⇒ この質問は 2 つに解釈できます。1) 「歩きながら食べる」という意味の「食べ歩き」でしたら、典型的な例がフィッシュ&チップスです。2) 「旅をしながら味比べする」という意味の「食べ歩き」でしたら、イギリスの味は画一的なので、あまりお勧めできる料理はありません。せいぜいスコットランドのハギス (haggis) ですね。これは茹でた羊の心臓・肝臓・肺の細切れとオート (からす麦) とタマネギとハーブを刻み、牛脂とともに羊の胃袋に詰めて茹でるか蒸すかした詰め物料理です。スコットランドに行ったら一度は試食しましょう。しかし運が良ければ、日本のデパートでもスコットランド製のハギス缶詰が手に入るかも知れません。
- 46) イギリスで生活するのと、日本で生活するのでは、どちらの方がお金がかかるのでしょうか？ また、家賃はどちらが高いのでしょうか？ ⇒ 階級差・地域差・個人差があるので、一概には回答できません。個人的な感触では、東京は家賃と食料品が高い割に、なぜか外食がイギリスに比べて極端に安いです。これは日本のみならずアジア諸国全般に言えることですが、一人暮らしの場合、外食した方が自炊よりも安くつきます。しかしイギリスには、一部の特権階級 (貴族や大富豪) を除いてあまり外食の習慣がないので、外食すると物凄くお金がかかります。その代わ

り、自炊は日本より安上がりです。まじめにしっかり自炊する人にはイギリスが良いでしょう。家賃に関しては東京の方が高く、そのくせ部屋の質は劣ります。日本の住居は貧しいです。

- 47) イギリス人は昼間からワインを飲んでいるのですか？ ⇒ いいえ。昼間は飲みません。上流と中産階級は夕食 (dinner) にワインを飲みます。いわばワイン付きで 19:30 ぐらいに始まる夕食のことを「ディナー」というのです (ただ、上流階級は supper と称し、開始時刻が 20:00 以降という家が多いかも知れません)。これに対して労働者階級は夕食を tea と呼んでいて、通常 17:30 ぐらいに始めます。「ティー」という名の通り、紅茶を飲みながら食事をします。そして食べ終わると、ビールを飲みにパブへ繰り出し、親しい隣人や友人らと落ち合って世間話に興じるのです。なお、イギリスの大学生は中産階級出身者が多いにも拘わらず労働者の生活様式を真似る人が多いです。
- 48) イギリスでは 18 歳で選挙権が与えられるのに、お酒やタバコは 21 歳以上だと聞いて、日本も見習うべきだと思いました。⇒ 違います。アメリカと混同しましたね。イギリスでは 18 歳で選挙権とウィスキーなどの強いアルコールを消費する権利が与えられます。タバコは 16 歳からですが、意外にも人々はこの法律を知らず、何歳から喫煙しても平気です。アルコールも 16 歳から食事と一緒にビールなどの弱いアルコール飲料を飲んでも構わないとのこと。アルコールが 21 歳以上なのはアメリカの大多数の州です。しかしそのアメリカも選挙権とタバコは 18 歳からです。日本から見るとイギリスは実にゆるい国です。英語で permissive society (容認的社会) と言います。1960 年代以降のイギリスは犯罪さえ犯さなければ「何でもあり (Anything goes.)」という風潮です。
- 49) イギリスでは 16 歳からタバコを吸うことができ、しかも、それより低年齢でも喫煙が容認されていると聞きましたが、取り締まりはないのですか？ ⇒ 2009 年 10 月、2 才の女の子にタバコを吸わせた男が逮捕されましたが、これは極端な例です。基本的に未成年者の喫煙に対する取り締まりはありません。しかしタバコに関しては懲罰的なタバコ税と、職場や飲食店での全面禁煙法の施行のおかげで嫌煙派が副流煙の害を被ることが殆どありません。その点では日本より良いと思います。
- 50) なぜイギリスでは日本と違ってタバコやアルコールの許可される年齢 (タバコ 16 歳、アルコール 18 歳) が低いのですか？ ⇒ 人種の違いから来る身体的な耐性の違いです。白人は一般的に黄色人種と比べてアルコールに強いのです。タバコについては分かりません。アルコールに対する耐性があるため、イギリスではビール 1 パイント (約 568 ミリリットル) を飲んだ直後でも車の運転が許可されます。つまり 1 パイントまでなら「飲酒運転」とは見なされないのです。尤もイギリスのビールの主流はアルコール度数 3.8% であり、日本のビールの主流 5.5% に比べて酔わないのですが (但し、口に含んだときの味わいはイギリスのビールのほうが濃い感じです)。
- 51) イギリスではタバコや酒類の購入者に対して、店側が年齢確認のために身分証明書の提示を求めることはないのですか？ ⇒ 殆どありません。イギリスはゆるい国です。但し、どう見ても子供が購入しようとしている場合は売りません。一方、禁酒法という法律 (結果としてマフィアなどの犯罪者集団が私腹を肥やした悪法) がかつて存在していた米国では、酒類の販売について大変厳しいです。私は 30 歳をとっくに超えて髭まで生やしていたのに、米国のスーパーマーケットで瓶ビールを買おうとしたら、「身分証明書ありますか？ (Do you have an ID?)」と訊かれまし

- た。日本のパスポートを見せたら、生年月日をきちんと確認されて、「見た目よりずいぶん年食ってるわね (You are much older than you look.)」と言われてしまいました。
- 52) 日本では2008年3月以来、自販機でタバコを購入する際に必要な Taspo というカードが導入されましたが、イギリスにはそのようなカードはないのですか？ ⇒ ありません。まず、イギリスにはタバコの自販機自体が存在しません。
- 53) イギリスでは簡単に違法薬物が手に入るのですか？ ⇒ はい。残念ですが、そうした面は否定できません。イギリスは実にゆるい国 (あちらの言い方で permissive society) です。若者が踊り明かすナイトクラブでは、「エクスタシー」という錠剤型のドラッグが簡単に手に入ります。その他の薬物は路上で取り引きされているようです。地域によってはパブで見知らぬ男から「ハッシンに興味ない？」などと声をかけられることもあります。その場合は、きっぱり「ノー」と言いましょう。
- 54) 私はマンチェスター出身のバンドのオウエイシス (Oasis; 但し、日本では「オアシス」) のファンですが、Oasis のメンバーもドラッグをやっているのですか？ ⇒ 分かりませんが、その可能性は高いです。余談ですが、1980年1月16日 (水)、元ビートルズのポール・マッカートニー (Paul McCartney, b. 1942; 現 Sir Paul McCartney) は、成田空港にて大麻取締法違反 (不法所持) で現行犯逮捕され、東京の府中刑務所に10日間勾留されたあと、国外退去処分を受けてイギリスに強制送還されました。最悪7年の懲役刑になる可能性もありましたが、日英関係の悪化を恐れた日本政府が超法規的に寛大な措置を選んだのです。ちなみに同年12月8日 (月) には40歳のジョン・レノン (John Lennon, 1940-80) がニューヨークの自宅附近でストーカーの男に殺されました。1980年は、ビートルズ・ファンにとっては、ポールの逮捕勾留に始まりジョンの殺害に終わった最悪な年でした。ポールに話を戻すと、1967年7月24日 (月) 付の高級紙 (quality paper) タイムズ紙 (The Times) に大麻合法化推進のための意見広告を出しています。1970年代にはヨーロッパで、やはり大麻の不法所持で2度も逮捕起訴され、有罪判決を受けています。このような人物ですので、成田税関はマークしていたのでしょう。
- 55) コカインは社会的階層の高い人たち (富裕層) が使用することですが、値段が高いのですか？ また、蔓延しているマリファナやエクスタシーは安いのですか？ ⇒ はい。その通りです。特にエクスタシーは中高校生ぐらいの子が錠剤1粒で買うので、彼らでも容易に手の届く値段だそうです。この手軽さが怖いですね。
- 56) 中学校で「薬物を一度使ったら後へは戻れない」という標語を聞かされましたが、18歳人口の半数以上が違法ドラッグを経験済みのイギリス人は大丈夫ですか？ ⇒ はい。マリファナのような弱毒性の薬物で常習性がなければタバコの害毒程度ですが、ヘロインは体をボロボロにします。しかし「後へは戻れない」は大げさな言い方であり、この標語を書いた人も選定した人も、科学的な知識を欠いていると思います。だからと言って誤解なきよう。私はドラッグにもタバコにも反対です。
- 57) イギリスで違法ドラッグをやっている人を実際に見たことはありますか？ ⇒ いいえ。ありません。が、ロンドンのパブで見知らぬ男から「ハッシンに興味はないか」と話しかけられたことならあります。もちろん答えは「ノー」です。余談ですが、イギリスの学生はまるでマリファナでも扱うかのように、タバコ用の紙にタバコの葉を自分で落とし込んで、紙を器用に巻いてか

ら吸う人が多いです。日本で売られているような最初から紙に巻かれているシガレットは大変高価なので、彼らは苦肉の策として葉っぱ（但し、合法）と紙を別々に買うのです。こんなところにもイギリス人の“Do it yourself.”（自分のことは自分でやれ）の精神が表れています。また、これも違法ではありませんが、欧州人の奇妙な習慣として、卒論や修論などを大学に提出すると、仲の良い者同士が高級ホテルのロビーに行き、1本が千円以上する高価な葉巻を1本だけ買って、皆でまわし吸いします。まるでアメリカ先住民の儀式のようです。

- 58) イギリスでは喫煙可能年齢が事実上無制限（建前上は16歳以上）なのはなぜですか？ ⇒ イギリスではタバコや蒸留酒（ウィスキーの類い）に対して懲罰的な重税を課しています。子供には容易に手の出せる価格ではありません。タバコのような中毒性の高い悪習は、法律でぎちぎちに取り締まるよりも、税金という経済がらみの方法で包囲したほうが有効です。日本でもタバコに重税を課して、一箱1,000円にしてもらいたいのですが、そうするとタバコの安い周辺諸国から密輸品が流入し、結果として暴力団だけが儲かる世の中になる可能性も否定できません（禁酒法時代のアメリカの二の舞です）。また、イギリス全土の飲食店内での喫煙は厳禁（違反があった場合は店主に高額の罰金）です。余談ですが、19世紀末の日本では子供にタバコを吸わせるのが「かわいい」という理由で流行しました。しかしタバコは子供の成長に害悪を及ぼすことに気づいた明治政府が子供のタバコを禁止して、今日に至っています。日本に於ける喫煙の年齢制限は、まだ百年程度の歴史しかありません。その禁止から30年程度経過して中国に侵攻した日本軍は、現地でタバコを吸う子供たちを見て驚いたといえます。日本でもほんの30年前には見られた光景なの입니다。
- 59) イギリスは酒やタバコにかなりゆるいようですが、英国紳士という言葉はどこへ行ったのでしょうか？ ⇒ おや、「英国紳士」の定義を勘違いしていますね。英国紳士とは伝統的に、汗水流すような仕事はせず、酒やタバコを自由に楽しむ余裕のある地主階級（gentry）の人を指しました。しかしタバコについては最近世間の風当たりが強いので、喫煙の機会はめっきり減りました。先祖代々の土地や屋敷はありますが、貴族ではないので爵位はありません。酒やタバコに厳しく禁欲的なのはアメリカの成金階級です。
- 60) イギリスは日本に比べて「ゆるい国（permissive society）」という点が気になります。こんなにゆるくて良いのでしょうか？ ⇒ 『学苑』817号の拙論「訪日・滞日イギリス人のカルチャーショック」の事例216番にも書きましたが、イギリス人が日本に暮らし始めてみると、まるで1950年代にタイムスリップしたような不思議な錯覚に陥るのです。日本社会のゆるくないビシっとした感覚と、それでも段々ゆるく成りかけている感覚が1950年代のイギリスに似ているそうです。
- 61) 上記の回答で「イギリス人が日本に暮らし始めてみると、まるで1950年代にタイムスリップしたような不思議な錯覚に陥るのです。日本社会のゆるくないビシっとした感覚と、それでも段々ゆるく成りかけている感覚が1950年代のイギリスに似ているそうです」とありましたが、私には「日本社会のゆるくないビシっとした感覚」と「それでも段々ゆるく成りかけている感覚」の意味が分かりません。具体例を挙げてください。⇒ たとえば、日本では街に落書きがあふれることがないながら、徐々に増えてきている点です。違法ドラッグに手を出す者がまだ少ないながら、ナイトクラブや大学や芸能界などで徐々に薬物汚染が広がりつつある点です。結婚の大多

数が恋愛によるものになってからまだ日が浅く、性について語るのも、どこかぎこちない点です。それでいて死刑制度がいまだに機能し、コーヒーショップでは店員の目の届きにくい戸外のテーブルにも陶器のカップとソーサーや金属製のスプーンを使ってくれるのが、客を信頼しない 21 世紀のイギリスでは考えられないことなのです。日本は良い意味で「遅れている (backward)」とも言えます。

- 62) イギリスでは酒に酔った人間が罪を犯した場合、罰則は重くなりますか、それとも軽くなりますか？ ⇒ 一頃昔の日本では酒の席での出来事は大目に見る傾向がありましたが、現在では厳罰化の方向に進んでいます。イギリスでは、酒が絡もうが絡むまいが、やった犯罪について同じような罰則です。しかし一般人の陪審が有罪・無罪を決めるので、いわゆる心証に左右されます。酔っぱらいは心証が悪いです。
- 63) イギリスのテレビドラマを見ていたら夜のパブが出てきますが、誰も食事をしていないのが不思議でした。イギリスのパブは食事を出さないのですか？ ⇒ 多くのパブは昼食のみを提供します。夜のパブに集う客は、既に自宅や外部の食堂等で食事を済ませている人が多いのです。
- 64) BBC のコメディ番組『ボトム (Bottom)』(1991-95) のあまりの過激さにカルチャーショックを受けました。あのような番組を視て、「BBC は怪しからん。二度と受信料を払わないぞ」と抗議する視聴者は居ないのですか？ ⇒ イギリスは今ではすっかり「何でもあり (Anything goes.)」なので、この程度の番組では誰も驚きません。反対に彼らイギリス人が日本のテレビを視ると、下手な俳優 (大根役者) や、刀で斬りつける時代劇 (サムライ・ドラマ) に衝撃を受けます (『学苑』817 号の拙論「訪日・滞日イギリス人のカルチャーショック」の事例 212 番と 213 番を参照)。ところで大抵の国ではテレビやラジオの電波を流すには免許が必要です。日本もイギリスもこの点では同じです。ところがイギリスではテレビ受像機を自宅や事業所などに設置するのも免許制なのです。これを TV licence (ティーヴィーライセンス) と言います。1 年毎に更新しますが、カラーテレビ 1 台につき年間 142 ポンドと 50 ペンス (日本円で約 22,000 円) 徴収されます。白黒テレビは 1 台につき年間 48 ポンド (約 7,400 円) です。かつては郵便局に支払いに行くのが一般的でしたが、現在ではクレジットカード等の便利な支払方法があります。詳しくは、BBC の公式サイト (<http://www.bbc.co.uk/info/licencefee/>) をご覧ください。NHK には受信料支払拒否に対する罰則がないため、「うちは NHK は視ない」と言って支払わなくても平気です。そのため正直者がバカを見ることになります。一方、イギリスでは民放しか視ない人でも、必ず支払う義務があります。支払いを拒否すると刑務所に収監されます。毎年 700 人以上の人が支払拒否で刑務所に入るとも言われています。英国在住のアメリカ人はイギリスのことを「まるで北朝鮮のような独裁国家だ」と言って憤っていますが、NHK の受信料徴収に慣れている日本人にはさほどのカルチャーショックではありません。なお、観光客がホテルや民宿風ホテル (bed & breakfast) 等でテレビを視聴するのは無料です。但し、これは宿泊代金に含まれています。BBC 曰く、1 日 39 ペンス (日本円で約 60 円) の計算です。
- 65) イギリスではテレビ受像機を所有するのが免許制で 1 年毎にお金を払って更新しなければならない、無許可だと刑務所行きだと習いましたが、ワンセグ携帯のように電話機にテレビがついている場合でも免許を取得してお金を払うのですか？ ⇒ その通りです。1 台毎にお金を取られます。携帯電話会社に払う利用料金に含まれるケースもあります。ちなみに日本のワンセグ携帯

をイギリスに持って行っても映像形式が異なり（日本は米国式の NTSC，イギリスはドイツと同じ PAL），テレビとしては使い物にならないので，刑務所行きという事態にはなりません。

- 66) イギリスの法律では特定の性別だけを優遇すると違法であり，事業者は罰金を支払うことになると聞きましたが，「差別」と「区別」の明確な線引きはありますか？ 男女のどちらか一方にだけ利益が生じると違法なのですか？ それとも性で分けること自体が違法なのですか？ ⇒ 結論から言うと「差別 (discrimination)」だけが違法です。「区別 (distinction)」は違法ではありません。したがってイギリスにも男子校・女子校は昔から堂々と存在します。かつて女性に門戸を閉ざしていた Oxbridge (Oxford and Cambridge) も，今では男女双方に開放しています。
- 67) Oxbridge には伝統的に女性だけの学寮 (college) があると聞きましたが，それは特定の性別だけを優遇しているという点で違法ではないのですか？ ⇒ 難しい問題ですね。イギリス国内では今のところ違法性は指摘されていませんが，イギリスの上には欧州連合 (EU) という強大な権力集団がいて，英国政府のやっていることに口出しすることがあります。たとえば国家による年金を受け取れる年齢は，かつては男性 65 歳，女性 60 歳だったのが，性差別 (男性に不利) であるとする欧州裁判所からの圧力で，英国政府は女性の年金受給年齢を 65 歳に引き上げたという事実があります。女性だけの学寮が今後も存続できるのかは疑問です。
- 68) イギリスはなぜ死刑を廃止したのですか？ ⇒ 警察による誤認逮捕や不当な取り調べや，裁判所による誤審 (日本で言う「冤罪」事件) が相次いで発覚したからです。無実なのに死刑になったケースが続々と明るみに出たので，政府も国民も「悪人への厳しい罰」よりも，「無実の人の救済」を第一に考えるようになったのです。
- 69) イギリスの他に死刑制度のない国はありますか？ ⇒ 人権擁護団体アムネスティ・インターナショナルによれば，2008 年 12 月の段階で全世界の 3 分の 2 以上に相当する 92 ヶ国が死刑を廃止または停止しているとのことです (<http://www.amnesty.org/en/death-penalty/numbers> 参照)。イギリスを含む欧州連合 (EU) 加盟 27 ヶ国や，EU に加盟していないスイスやノルウェーや，カナダやオーストラリアやニュージーランドが，これに含まれます。
- 70) イギリスでは 1964 年以来，一件の死刑も執行していないとのことですが，その最後の死刑囚が起こした事件はどんな事件でしたか？ ⇒ 1964 年 4 月 7 日 (火) に，Gwynne Owen Evans (24 歳) と Peter Anthony Allen (21 歳) の 2 人が，洗濯物運搬車の運転手 John Alan West さん (53 歳) の家に金目当てで押し入り，頭を鈍器で殴打し，胸を刃物で刺して殺害しました。陪審は 2 人とも有罪と認め，同年 8 月 13 日 (木) 午前 8 時ちょうどに 2 人別々の刑務所で同時に処刑されました。これが英国刑事事件史上最後の死刑執行です。
- 71) イギリスは死刑制度を廃止したそうですが，そのことでもって凶悪事件が増える危険性はありませんか？ ⇒ 死刑廃止と凶悪事件の増減に因果関係を求めるのは難しいです。確かに 1965 年 11 月 9 日 (火) に施行された「1965 年死刑廃止法」以来，イギリスの殺人率は年々少しずつ増加しました。英国法務省 (the Home Office) によれば，今では 2 倍以上になったとのことですが (<http://rds.homeoffice.gov.uk/rds/pdfs/40years.pdf> 参照) が，それでもイギリスでは死刑制度復活への目立った動きはありません。元々極めて僅少な事件が多少増えただけという認識のようです。死刑廃止論者の団体アムネスティ・インターナショナルは，英連邦の一つカナダの例を引いて，1976 年の死刑廃止以来むしろ殺人率が下降傾向にあるとしています (<http://www.amnesty.org/>

en/library/asset/ACT50/010/2007/en/f45ed09c-d3a2-11dd-a329-2f46302a8cc6/act500102007en.html 参照)。しかしこれにはデータを恣意的に抽出したとの批判もあります。イギリスとカナダの例のみならず、諸外国の死刑廃止後の殺人率の分析は、学者によっても立場の違いで様々です。ウィキペディア英語版の The Death Penalty: Opposing Viewpoints (2002) が、異なる見解を手取り早く紹介しています ([http://en.wikipedia.org/wiki/The_Death_Penalty:_Opposing_Viewpoints_\(2002\)](http://en.wikipedia.org/wiki/The_Death_Penalty:_Opposing_Viewpoints_(2002)) 参照)。

- 72) 日本では冤罪が発覚した場合、国から賠償金として 3000 万～6000 万円程度貰えると聞きましたが、イギリスはどうですか？ ⇒ イギリスにも補償制度はあります。金額は分かりません。また、冤罪とまでは行かないにしても、警察の暴走を食い止めるために、国や警察からは独立したその名も「独立警察苦情委員会 (IPCC: Independent Police Complaints Commission)」なる組織があります。マスコミにも頻繁に登場する組織名です。
- 73) 「独立警察苦情委員会」という組織は誰が運営しているのですか？ ⇒ これは 2004 年 4 月 1 日 (木) にできた新しい組織です。創設以来、Nick Hardwick という「難民委員会 (Refugee Council)」の元議長が、この議長を務めています。組織そのものは非省庁系公的法人 (non-departmental public body) という位置づけです。
- 74) 日本には警察と検察がありますが、イギリスもそうですか？ ⇒ はい。そうです。イングランド&ウェールズには The Crown Prosecution Service (<http://www.cps.gov.uk/>) という王室御料検察局が存在します。また、スコットランドには The Crown Office and Procurator Fiscal Service (<http://www.copfs.gov.uk/>) という「王室御料局及び地方検察局」が存在します。スコットランド政府の公式サイトには中国語繁体字版もあり (日本語はなし)、「皇庭及地方検察部」とあります。
- 75) イギリスの警察も日本の一部の警察 (たとえば栃木県警) のように被疑者に無理に自白させようとするのですか？ ⇒ 以前はそのようなこともありました (特に 1970 年代) が、今では、「悪人を一人残らず捕まえるぞ」という昔の方針を改め、「結果として悪人を何人か取り逃すことになるかも知れないが、無実の人を拘束するのはやめよう」と方針転換しています。しかし昨今のテロ対策となると、この原則が崩れてしまい、昔のような「一人残らず」という考え方が再び台頭しつつあります。
- 76) 近頃日本では警察官が、ストーカー行為やストーカー殺人や痴漢や泥棒など、罪を犯す事件が増えています。イギリスはどうですか？ ⇒ 増えている印象は受けません。が、イギリス特有の警察不祥事としては、アフリカ系市民に対する偏見に基づく不当な取り調べが時々明るみに出ます。
- 77) イングランドのサッカーをテレビで見ていると、馬に乗った警官を見かけますが、イギリスでは警官が馬に乗るのですか？ ⇒ はい。確かにイギリスやアメリカには騎馬警官が存在します。彼らは群衆の交通整理にその実力を発揮します。
- 78) 2005 年 7 月 7 日 (木) のロンドン同時多発テロ事件でブラジル人の不法滞在者をテロリストと誤認して射殺したのは、どの組織ですか？ ⇒ ロンドン警視庁 (the Metropolitan Police; 略称は the Met Police; 愛称は Scotland Yard) の警官でした。このときは「有事」ということで銃で武装していましたが、通常は警棒しか持っていません。ちなみに警察の他にも、英国陸軍特殊空

挺部隊 (SAS: Special Air Service) が立て籠もり事件の解決に当たることもあります。また、MI5 (エマイファイヴ) は、国内治安維持に責任を有する軍事情報機関であり、スパイやテロリストの動きを監視します。しかし司法警察権は有さないため、実際の逮捕はロンドン警視庁や各県警が担当します。アメリカの FBI と似て非なる組織と言えるでしょう。イギリスには他にも MI6 (エマイシックス) という政府機関が存在し、対外諜報活動を行なっています。かの有名な架空のキャラクター James Bond も MI6 勤務の国家公務員という設定です。なお、この特務機関は 2001 年 5 月 1 日 (火)、北朝鮮の総書記で独裁者の金正日 (Kim Jong-il, b. 1941) の長男金正男 (Kim Jong-nam, b. 1971) が、偽造旅券行使容疑で成田国際空港入国管理局に拘束されるに当たって、事前に貴重な情報を日本側に提供してくれた機関です。この事件では日本側が報復を恐れたため、「被疑者の身元不明」として金正男とその一行を超法規的に国外退去させました。この一件で金正日は日本に対して大きな借りができたと感じ、後の拉致被害者の帰国につながったのかも知れません。

- 79) イギリスでは屋根に乗った泥棒がアクリル板を誤って突き破って落下して怪我をすると、被害者である筈の家主が訴えられることがあると聞きましたが、理解できません。イギリスの法律は犯罪被害者を守ってくれないのですか？ ⇒ イギリスはアメリカ同様、無作為に選ばれた素人の一般成人が 12 人集まって判決を下す陪審制です。素人だからこそプロの悪徳弁護士につけ入られてしまうスキがあるのです。アメリカでは自分で注文したマクドナルドのコーヒーで火傷したと訴えたお婆さんが、悪徳弁護士の詭弁やら演技やらで陪審の同情を買い、法外な賠償金をせしめました。陪審の結論は「何の警告もなく熱すぎるコーヒーを供したマクドナルドが悪い」というものでした。イギリスではここまでひどい判例はまだありませんが、確実にアメリカ化の道を歩んでいます。
- 80) イギリスでは田舎の散歩道でゴミを散らかすと罰金が約 2 万円と聞きましたが、日本では聞かないような珍しい法律は他にもありますか？ ⇒ はい。たとえばロンドンの国会議事堂では議員が鎧を着て入場してはいけないという法律があります。また、ロンドン中心部の一部の地区ではタクシーに干し草を積んでいなければいけないという馬車時代から続く変な法律が存在します。これは誰も守っていませんが、警察も取り締まりません。それからイングランドとウェールズの「国境地帯」では、週末にウェールズ人の集団がイングランド国境に向かってやって来るのをイングランド人が見たら、弓矢や長弓で撃っても良いという法律が近年までありましたが、今では廃止されました。廃止してなかったことに気づかなかっただけのことです。本当に撃ったイングランド人はいませんでした。変な法律では日本も負けていません。日本では近年まで満 20 歳以上であっても学生・生徒に該当する者が勝馬投票券 (いわゆる馬券) の購入・譲渡をしてはならないという規定がありましたが、2005 年 1 月に競馬法 28 条が改正されて満 20 歳以上なら誰でも馬券を購入できるように改められました。競馬の監督官庁は農林水産省です。ところが経済産業省が監督している競輪は、自転車競技法 7 条の 2 に基づき、いまでも学生・生徒に該当する者が勝者投票券の購入・譲渡をしてはならないという規定があります。これは縦割り行政の産物です。オートレースも経済産業省の管轄なので小型自動車競走法に定められた通り、学生・生徒に該当する者が勝車投票券の購入・譲渡をしてはならないという規定が存在します。競艇は国土交通省の管轄でモーターボート競走法によって定められていますが、2007 年 4 月 1 日の法改正で

学生・生徒に該当する者が勝舟投票券の購入・譲渡をしてもよいことになりました。したがって学生は日本では競馬と競艇は法的に問題なし、競輪とオートレースは経済産業省によって禁じられているのです。30歳の大学院博士後期課程の学生も、70歳の高齢学生も、学生という身分のために禁止されているのです。また、そもそも日本の法律はあらゆる賭博・ギャンブルの類いは禁止としておきながら、公営ギャンブルである競輪・競馬・競艇・オートレースはお咎めなし、宝くじも堂々と売られ、パチンコも店外で景品と交換するので黙認という無秩序な状態です。

81) 1993年2月12日(金)に起こったバルチャーちゃん事件の犯人たち(犯行当時10歳の少年2人)に新しい身元(identity)が与えられたそうですが、同じようなことはイギリスではよくあるのですか? ⇒ 多くはありませんが、世間の耳目を集めた事件の少年犯が出所する際には、元受刑者の人権保護の観点から行なわれることです。日本の場合は国ではなく、お金持ちの篤志家が養子縁組という形で、元少年犯の苗字を変えさせて社会復帰を目指します。しかしその身元を変えた元少年が成人して出所してから凶悪な事件を起こすことがあり、たびたび問題になります。昭和末期の1988年から翌年1月にかけて起こった日本犯罪史上例を見ないほど残忍な「女子高生コンクリート詰め殺人事件」(通称「コンクリ事件」)の少年犯の一人、神作讓被告が2004年に今度は知人男性の監禁致傷事件を起こして逮捕起訴されたことが記憶に新しいです。

82) イギリスのバルチャーちゃん事件では当時10歳の男子2人が逮捕されましたが、イギリスでは何歳から逮捕できるものなのですか? ⇒ 10歳からです。日本では2007年11月1日の改正少年法により、14歳以上の場合、成人と同様に扱い、警察や検察庁の捜査が行なわれ家庭裁判所に送致できるとされています。イギリスの現状について、東京弁護士会のウェブサイト(http://www.toben.or.jp/abouttoben/committees/kodomo/koukai_kaiji_qa/koukai_kaiji_qa9.html, アクセス日2009年10月1日)を引用します。

イギリスにおいても、日本でいう少年法と同じような法律(児童青少年法)が存在し、現在は、10歳から18歳未満の者は青少年裁判所(Youth Court)で非公開で審理されるのが原則です。しかし、これらの年齢の子どもでも殺人を犯した場合等は、刑事法院(Crown Court)で成人と同じ正式裁判(公開裁判・陪審裁判)を受けます。この場合は、裁判官の報道禁止命令をまって初めて報道規制が実施されますが、実際にはこれまで裁判官が報道禁止を命じなかったケースはないとのこと。

したがって、イギリスにおいても、「少年であっても、残忍で凶悪な犯罪を犯した容疑で逮捕されれば、直ちに氏名や顔写真が公表される」ということが認められているわけでは決してありません。

実際、バルチャー事件においても、当初は裁判所が報道を規制して少年たちの匿名報道が維持され、後に少年たちの氏名・顔写真が掲載されるようになったのですが、これは有罪評決が出された後、裁判所自ら、報道規制を解き、少年の氏名・顔写真の公表を許可したからでした。また、この報道規制解除は無限定なものではなく、掲載される少年達の写真は過去に1回使われた写真だけで、裁判そのものや少年達の居場所を報道することも禁じるとの条件付でした。

この条件は少年達が18歳になるまでと期間が限定されていましたが、終了直前の2000年7月、当時の少年達の写真と成長振りについての報道を禁止する仮差止命令が出され、イギリス政府は、本案命令に先立ち、少年達の社会保険番号、出生証明、パスポート等を変更するなどして全く新しいアイデンティティを与えました。そして、翌2001年1月9日、高等法院によって、新聞、ラジオ・テレビ放送、コンピューターネットワークがこの少年達の新しいアイデンティティと居場所を報道することを終身禁止する命令が出され、実質的に終身の匿名が認められました。バルチャー事件がこうした

経緯を辿ったのは、氏名や顔写真が公表されたことの弊害を是正するための後始末と言えるでしょう。

- 83) 日本で始まったばかりの「裁判員制度」はイギリスの陪審員制度を真似したものでしょうか？ ⇒ はい、その通りです。しかし違いもあります。人数はイギリスの陪審員が12人で、日本の裁判員が6人です。裁判員は量刑まで決定しますが、陪審員はプロの判事に量刑の判定を委ねます。ちなみに日本でも1928年10月1日（月）から1943年3月31日（水）までの14年半の間、英米流の陪審制が部分的に機能していました。しかし戦争の激化に伴って徴兵制こそが一般市民にとっての最重要課題になり、陪審裁判どころではなくなりました。そのため、「今次戦争が終結した時点で陪審裁判再開の有無を再考する」という条件付きで廃止されました。この時点で考えていた「戦争終結」は、日本が米英に対して有利な条件で講和条約を結ぶこと（判定勝ちのような勝ち方）を意図していたので、1945年8月15日（水）の敗戦ショック（完全なノックアウト負け）で陪審裁判どころではなくなりました。そして2009年5月21日（木）の裁判員制度開始までの実に66年間、日本では一般市民が人を裁く制度が途絶えていました。
- 84) イギリスにはマフィアややくざのような組織犯罪者がいないのは本当ですか？ ⇒ 残念ながらゼロとは言い切れません。最近ロシアから「マフィヤ（Мафия; Mafiya）」が西ヨーロッパに入り込んでいます。しかし日本の繁華街ほど目につく存在ではなく、一般の企業や商店とも無縁の存在です。
- 85) 右翼団体は日本だけのものですか？ イギリスにはないのですか？ ⇒ 確かにあのやかましい街宣右翼は日本にしかいないでしょう。イギリスも日本同様に思想的に自由な国なので右翼的な考えの団体も一応存在します。英国国民党（BNP: British National Party）という、国会では無議席（但し、英国地方議会と欧州議会で議席あり）の政党が有名です。この党は移民排斥を訴え、白人の白人による白人のための英国にするべく画策しています。インターネット上のYouTubeなどにさかんに画像をアップロードしていますが、殆ど支持者はいません。一方、ドイツにはネオナチがいますが、ナチスのアイテム（ハーケンクロイツの旗やナチス時代の軍歌等）は禁止されています。彼らとてあからさまにナチズムを宣伝することはできません。そこで仕方なくナチス第三帝国（1933-45）よりももっと前のドイツ帝国（俗に言う「第二帝国」1871-1918）時代の国旗を目印に政治的に危険なピラを配っています。日本はドイツと違い、集会や結社が自由なので、危険な政治団体や宗教団体や犯罪者集団が野放しになっています。なお、公安調査庁元調査第二部長菅沼弘氏が社団法人日本外国特派員協会で2007年に語ったところでは、やくざの構成員8万～9万人の内、約60%は同和関係者（元被差別部落民）、約20%が在日韓国人、約10%が在日朝鮮人、残り約10%が中国系や一般日本人とのことです。そして菅沼氏によると、やくざは1992年の通称「暴力団対策法」の施行以来、街宣右翼や産廃業者やITのベンチャー企業に姿を変えています。詳しくは、YouTubeの“Japanese Yakuza 1-6” (<http://www.youtube.com/watch?v=YRFmzRKvx7I>) をご覧ください。外国人の前でしか語ってないのが惜しいぐらいです。
- 86) イギリスで最も危険な都市はどこですか？ ⇒ イギリスに限らず、国際的に知名度の高い大都市は、大抵どこでも危険区域を抱えています。まず首都ロンドンですが、ハリー・ポッターでお馴染みのKing's Cross stationの駅舎の裏手は、たまに非行少年らによる強姦事件が発生しています。駅の中や駅前は安全ですが、駅舎の裏は避けましょう。また、テムズ川の南岸のサザーク（Southwark）区は、昔から治安が悪いと言われています。その西に隣接するランベス

(Lambeth) 区のブリクストン (Brixton) は様々な犯罪や人種暴動が発生することで、しばしばニュースに登場します。列車の窓から目にするのはあっても、降りない方が良いでしょう。ロンドン以外では、ビートルズ (The Beatles) の出身地リヴァプール (Liverpool) は、街全体が危ないので、行くとしたら昼間しかありません。宿泊は比較的近くの歴史都市チェスター (Chester) にした方が身のためです。同じくイングランド北西部の都市マンチェスターの南の方にはモス・サイド (Moss Side) という危険区域があります。一般人が車でよく通る所ではありますが、「絶対に車から降りてはいけない」と言われる区域です。一方、スコットランドでは産業都市にして最大の都市グラスゴウ (Glasgow; 但し、日本ではグラスゴー) が危険区域を抱えています。その郊外でベイズリー織の柄で有名な町ベイズリー (Paisley) は、英国で最も安く殺し屋が雇える土地として名を馳せました。スコットランドの都エディンバラ (Edinburgh) は、ユネスコ世界遺産にして国際観光都市という表の顔とは裏腹に、麻薬犯罪に手を染める若者がたむろする街でもあります。港湾都市という性格上、良からぬ人や物が入り込んでくるのです。

87) 英国人や他の EU 諸国の人々は、EU と non-EU の人々を区別するという話を聞きましたが、本当ですか？ ⇒ 誤解ですね。それは入国審査での話です。たとえばロンドン・ヒースロウ空港に着くと、EU passports と Other passports の行列に分かれ、日本人は後者の長い行列に並ぶ羽目になります。日本国は欧州連合 (EU) に加盟していないのですから、仕方のない話です。日本の空港でも「日本人および再入国者 (Japanese passports and Re-entry permits)」という行列と、「外国人 (Foreigners)」の行列に分けて、明確に区別しています。アメリカ合衆国では、US & Canadian citizens と Others に分けています。世界各国、ごく当たり前の光景です。しかし英国の入国審査に関しては、日本人はかなり優遇されています。査証なし (non-visa) で6ヶ月間も無条件で英国滞在が許されるのですから (但し、就労許可は別)。これは日英間の相互協定に基づいていますから、英国人も日本の入国審査で同様の扱いを受けます。アメリカ人だと90日しか滞在許可が下りません。中国国籍の人はもっと悲惨で、どんなに短い滞在でも事前に英国外務省から有料で発給される査証 (visa) を取得しておかないと入国すらできません。この点で日本人は恵まれています。だからこそ海外の犯罪組織が日本人のパスポートを狙うのです。そして闇のルートで盗難パスポートが高値で取引されると言います。

88) イギリスには日本人に対する差別待遇はありますか？ ⇒ はい。あります。EU と英連邦諸国以外の居住外国人は、潜在的には敵性外国人扱いなので、警察署で外国人登録をする義務があります。私は1995年に自腹で30ポンド (当時のレートで約5,000円) の登録料を払いました。その後も引越のたびに最寄りの警察署に向いて新住所を登録せねばなりません (これは無料)。同じことは日本の法務省もイギリス人を含む居住外国人に対して行なっているので、イギリスだけを恨むわけにはいきません。しかも日本政府は外国人に指紋押捺まで要求しています。こうなると潜在的には敵性外国人どころか犯罪者扱いです。なお、最近では日本政府はついにアメリカの真似をして、短期訪問の外国人にまで指紋押捺を要求しています。

89) イギリスの国民健康保険 (NHS: National Health Service) が、一部の例外を除いて無償で医療行為を提供できるのはなぜですか？ ⇒ 税金が高いからです。イギリスでは食料品などの一部の例外を除いて、あらゆる物品が贅沢品と見なされ、17.5% の付加価値税 (VAT: value added tax) が内税で課されています。しかし今は不景気なので景気刺激策として VAT の率を一時的

に 15% にまで下げています。贅沢品ではないとされる特定品目は無税または 5% の税率です。ちなみに北欧の高度福祉国家のデンマークやスウェーデンの VAT は 25% です。

- 90) イギリスは福祉国家を維持するために、17.5% という高額が付加価値税を消費者に課していると聞きましたが、この税金のせいで購買意欲が削がれてしまうことはありませんか？ ⇒ はい。購買意欲が減退するのは事実です。しかしイギリス人はそれでいいと考え、「消費拡大」という概念に対しては一定の距離を置いています。イギリス人から見ると、日本人は恐るべき経済至上主義者です。
- 91) イギリスの国民健康保険では、患者が長いこと待たされると聞きました。では、骨折したのに長いこと放置され、骨が変なくっつきかたをしたり、何か別の症状が併発した場合に、損害補償などはあるのですか？ ⇒ 特にありません。別の症状が出た時点で別の診察を申し込むこととなります。案外、別の症状についてはすいていて、すぐに治療が受けられることもあります。しかしこれには運不運がありますので、やはり富裕層は最初から民間医療機関へ行きます。
- 92) イギリスでは太っている人と痩せている人の、どちらが目立ちますか？ ⇒ 残念ながら、肥満の人が目につくようになってきています。それでもアメリカよりはましです。アメリカでは 4 人に 1 人（人口の 25%）が病的肥満（clinically obese）です。しかしイギリスでは男性の約 17%、女性の約 13% が病的肥満です。「メタボ体型」どころの話ではありません。
- 93) イギリスでは妊婦の診察が無料だと聞きました。素晴らしい制度だと思う反面、ティーンの子の妊娠が増えてしまうのではないかと心配です。⇒ はい。確かにイギリスはティーンの子の問題がヨーロッパ先進国で最も深刻です。イギリスに於ける性教育や、性に対する向き合い方にも問題があるようです。日本も人ごとではありません。
- 94) 日本ではイギリスのような「全国民に無償の医療を」という動きはなかったのでしょうか？ ⇒ 日本では「無償」という発想はありません。しかし「国民皆保険」という概念はイギリスなどの先進国の制度を参考にしています。
- 95) イギリスの医師や看護師の数は、日本や他国と比べて多いのですか、少ないのですか？ ⇒ 日英ともに医療従事者の数は先進各国に比べて極度に少ないです。そして日英ともに「医療崩壊」という大問題に直面しています。
- 96) イギリスの医療費は原則無料と聞きましたが、医師や看護師の人たちは、それで十分な給与と所得を得ることができるのですか？ ⇒ 日英ともに医師や看護師の給与は先進各国に比べてかなりの薄給です。だからイギリスから優秀な医師が国外（特にアメリカ）へ流出し、代わりにアフリカ系やインド・パキスタン系の医師や看護師がイギリスに進出してきます。一方、日本の医師は、英語などの外国語が苦手なため、国外流出はしません（できません）。しかしそもそも医師の数が少ないため、日本の医療現場は大変なことになっています。
- 97) 「医師は所得が多い」というイメージがありますが、本当のところどうなのですか？ ⇒ 確かに一般の勤労者よりは稼げますが、実際はそれほどでもありません。日英両国は医師や看護師の業務に対する報酬が極端に低く抑えられている点が問題です。イギリスの医師でたくさん稼げるのは、国民健康保険（NHS）から離脱した一部の private doctors だけです。一方、日本の医師でたくさん稼げるのは一部の開業医だけです。医師は専門的な知識や技能を要求される職業です。高校卒業後、大学の医学部または医科大学で高額な授業料を払って最低 6 年間勉強し、国家

試験に合格し、規定の2年間の研修を終えた人だけが、その職に就くことができます。それにも拘わらず、特別な資格を持たない大手マスコミや広告会社の正社員のほうが、勤務医よりたくさん稼いでいます。医師は人の命を預かっていて、裁判沙汰や業務上過失致死による逮捕起訴のリスクを常に抱えている職業でもあります。労働条件は過酷で劣悪ですので、医療事故が起こるべくして起こるのです。何年かごとに職場を変える医師も多いので退職金は非常に少ないとも言われています。したがって「医者儲かる」というイメージは、勤務医の場合、その仕事内容を考えると現実味の乏しい偏見と言えるでしょう。

- 98) イギリスには日本の「お正月」のような New Year を祝う習慣はないのでしょうか？ ⇒ 日本ほどではありませんが、一応スコットランドにだけ New Year を祝う習慣があります。「ホグマナー (Hogmanay)」と呼ばれています。新年早々に最初の客人として黒い髪の高背の男性の訪問を受けると、その1年は幸運に恵まれるという迷信があります。
- 99) イギリスにも「こどもの日」や「勤労感謝の日」はありますか？ ⇒ ありません。日本には「国民の祝日」(旗日)が年間合計15日もありますが、これは先進国では最多であり、異常な状態です。そのくせ一般の社員が連続して休める日数は先進国で最低レベルです。日本では飛び飛びに不規則に休みが来るので勤労者の能率が上がりません。その点、イングランド&ウェールズには、1月1日の「元旦 (New Year's Day)」, 春分の日後の満月の後の最初の日曜日の2日前である「復活祭金曜日 (Good Friday)」, 5月第1月曜日の「5月初旬銀行休日 (Early May Bank Holiday)」, 5月最終月曜日の「夏季銀行休日 (Summer Bank Holiday)」, 8月最終月曜日の「8月銀行休日 (August Bank Holiday)」, 12月24日の「キリスト生誕前夜祭 (Christmas Eve)」, 12月25日の「キリスト生誕祭 (Christmas Day)」, 12月26日の「箱を贈る日 (Boxing Day)」の合計8日しかありません。それでいて、イギリスの社員は日本より沢山のまとまった長期休暇が取れます。日本では学生と教員だけが、本格的な長期休暇の取れる特権階級と言えるでしょう。
- 100) 日本は夏にお祭りが多くありますが、イギリスはどうですか？ ⇒ 英国各地では夏休みに広い公園を使って大規模な野外劇を上演します。時節柄、シェイクスピア (William Shakespeare, 1564-1616) 作『真夏の夜の夢』が人気です。それからイギリスの夏の風物詩と言えど何と言っても1885年以来100年以上に亘って続いている「BBC プロムズ (BBC Proms)」という、肩の凝らないクラシック音楽祭です。
- 101) イギリスにもバレンタインデーの習慣はありますか？ ホワイトデーはありますか？ ⇒ 確かにイギリスでも毎年2月14日は聖ヴァレンティヌスの日 (St Valentine's Day) ですが、ホワイトデーはありません。イギリスでは2月14日に好きな異性にカードを送りますが、そこには自分の名前をわざと書かない習慣があります。差出人が誰なのか相手に当てさせるのです。恋人同士や夫婦は、チョコレートや花束などを交換します。日本独自の習慣として、女性だけが男性に本命チョコや義理チョコやらを配って廻るバレンタインデー、そして1ヶ月後に男性が女性にお返しをするホワイトデーは、日本の製菓業界が考え出したことです。当初は1970年代辺りに「女性は1年に1日だけ好きな男性に愛を告白できる」(今風に言うと「男にコケれる」というロマンティックな概念が、当時の若い日本人に受けました。やがて製菓業界は日本人の「洋菓子好き」と「義理人情」と「お返し文化」を巧みに利用したマーケティング戦略を展開して今日に至っています。ちなみに韓国にはさらに1ヶ月後の4月14日にモテない男女が一ヶ所に集って

叫びながら黒い麵を食べる「ブラックデー」という習慣があるそうです。日本の「ホワイトデー」を韓国流に裏返した習慣です。

- 102) 6月はイギリスが1年で最も美しく輝く季節だと聞きましたが、ジューン・ブライド (June bride; 水無月の花嫁) はイギリス起源ですか? ⇒ はい。この言葉自体はイギリス起源です。しかし厳密に言うと、この考え方は古代ローマに由来します。6月の英語名 June (ジューン) はローマ神話の最高神 Jupiter (ユピテル; 英語読みでジュピター) の妻 Juno (ユーノー; 英語読みでジュノウ) から取られた名前です。ユーノーが結婚生活の守護神であることから、6月に挙式する花嫁を“June bride” (ラテン語に訳せば“nupta Iunii”) と呼び、この月に結婚すると幸せになれるという迷信なのです。したがって本来は美しい季節とは無関係です。
- 103) もし国際結婚するとしたら、相手がイギリス人男性では大変でしょうか? イタリア人男性は言葉巧みに言い寄ってくるイメージがありますが、イギリス人の恋は情熱的ですか? ⇒ 個人差があるので回答できません。松尾寿子『国際離婚』(集英社新書, 2005) と、関陽子『国際結婚「危険な話」』(洋泉社新書, 2001) の一読をお勧めします。多くの日本人女性は語学力不足と相手の文化への無理解から (もちろん無理からぬことですが)、自分の生まれ育った社会階層よりもずっと下の白人男性に「つかまって」しまい、結婚後しばらくすると下層に転落してしまったという恐ろしい事実によく気づきます。また、首尾よく真面目で堅実な中産階級の男性と結ばれた場合も、価値観の違い (日本では妻が一家の財布を管理し、夫は妻から小遣いを貰って生活するが、西欧では夫が財布を管理し、妻は自分も働きに出ない限りは無一文) で衝突することが分かります。「女性は結婚でもって永久就職、三食昼寝つき」という概念は西欧社会では通用しません。では、上流階級に嫁ぐ場合は楽かと言うと、そうでもありません。上流夫人は日々の生活のやり繰りや家事の心配がない代わりに、〇〇伯爵家の晩餐会に着ていく服や宝石や話すべき話題やら、△△社の社長夫妻を招いてのパーティーの準備 (使用人の掌握と配置を含む) やらで、いつも頭がいっぱいです。ヨーロッパ数ヶ国語に通じている必要もあります。女もつらいよ、ですね。
- 104) イギリスで何度も結婚する人はその度に式を挙げるのですか? ⇒ はい。イギリスの法律では結婚の度に式を挙げることになっています。但し、多くの人は贅沢な結婚式や披露宴ではなく、市役所の結婚登記所 (大抵は市庁舎から独立した小さな建物) でごく簡素に行ないます。披露宴もごく簡単なパーティーで済ませます。
- 105) イギリスでは男性も子育てに協力するのが普通ですか? ⇒ はい。そうです。イギリス人に限らず、ヨーロッパ人は男でも子育てに協力的な人が多いです。しかしこれには階級も関わっています。上流階級は男女ともに使用人に何でも任せてしまうので、あまり子育てをする人はいません。反対に下層階級の男性は、テレビでスポーツ観戦をしながらビールばかり飲んでいるので、あまり協力的ではありません。したがって夫婦でせっせと子育てしているのは主に中産階級です。
- 106) イギリスの若年や中年のカップルの多くは、どうして籍を入れずに事実婚を選ぶのですか? ⇒ 結婚に伴う法律的な要素や宗教的な要素を嫌うから。または男女の関係は飽くまでも個人的なものとして認識しているから。他には単に結婚式が面倒だと考えるからといった理由です。尤も皆それぞれの事情があり、一概には言えませんが。しかし一番大きいのは、事実婚のカップルやその子供にも、正規に結婚した夫婦と同等の権利が与えられている点です。イギリスに限らず西ヨーロッパの他の先進国も同様です。彼らから見ると日本は遅れているのです。

- 107) 現在の日本には 200 年前のイギリスと同じような差別が残っていると聞きましたが、具体的にはどのような差別ですか？ ⇒ 婚外子（非嫡出子）に対する法的な差別です。詳しくは松山大学田村研究室のウェブサイト「婚外子の戸籍続柄」（<http://www.cc.matsuyama-u.ac.jp/~tamura/konngaisitudukigara.htm>）や、なくそう戸籍と婚外子差別・交流会編『なくそう 婚外子・女性への差別』（明石書店, 2004）を参照してください。
- 108) イギリスも日本同様に晩婚化や初産の高齢化が進んでいることを知りました。イギリスでは少子化問題は議論されないのでしょうか？ ⇒ 日本ほどには議論されません。と言うのも日本ほどには急激な人口減少が起こりそうにないからです。イギリス人から見ると、日本のような人口過密な国の人口が減ってくれるのは歓迎すべきことなのに、なぜ日本人は危機感を抱くのか理解に苦しむそうです。この点は『学苑』817号の拙論「訪日・滞日イギリス人のカルチャーショック」の事例 240 番でも触れました。
- 109) ロシアの離婚率は約 70% だと習いましたが、イギリスの約 50% は世界的に見れば、ごく普通なのですか？ ⇒ 「はい」とも「いいえ」とも言えます。先進国ではそれほど驚く数字でもありません。アメリカも 46% とのことです。しかしこれらの数字は、飽くまでもその年の離婚件数を分子として結婚件数を分母に計算しただけです。マスコミがこれらの数字を引用します。人口比で割り出したイングランド&ウェールズの離婚率は 12% です（英国統計局のウェブサイト <http://www.statistics.gov.uk/cci/nugget.asp?id=170> 参照）。日本の離婚率は厚生労働省によれば 0.2% です。しかし日本のマスコミは「1 年間に 3 組中 1 組が離婚」（離婚率 33%）と、センセーショナルに報道しています。これも飽くまでもその年の結婚件数を離婚件数で割っただけです。
- 110) イギリスにも「女は～をしてはだめ」とか「女の子なんだから～しなさい」という固定観念はありますか？ ⇒ あまりないように思いますが、私が男なので気づかないのかも知れません。敢えて言えば、女性が一人でレストランや酒場に行くと、大変奇異な目で見られ、下手をすれば（そのとき着ている服にもよりますが）娼婦と間違えられる可能性もあります。男性は一人で食べたり呑んだりしても少しもおかしくはないのに、女性だと事実上ダメなのです。これはイギリスだけではなく、欧米の白人社会全般に言えることです。したがって本学のボストン校でも、学生の単独行動を禁止しています。女性が一人で出かけられる自由は日本の方が上です。
- 111) イギリス映画で女性たちが教会内で帽子をかぶっている光景が不思議でした。屋内で帽子を脱がないのは失礼だと思うのですが、イギリスは違うのですか？ ⇒ イギリスのみならず、キリスト教のしきたりなので、よく覚えておきましょう。まず、教会に入ったら男性は絶対に帽子を脱ぐ決まりがあります。反対に女性は帽子または布で頭を隠すことを奨励されています。尤も中には何もかぶらない女性も少数ながらいますが。女性が頭を隠すのは、キリスト教発祥の地である中東のしきたりですが、欧米のキリスト教徒の間でも比較的よく守られています。
- 112) イギリス映画を見るとイギリス人の会話は互いを貶し合っているような印象を受けます。イギリス人はなぜこのようなコミュニケーションをとるのでしょうか？ ⇒ イギリス人は皮肉が大好きです。毒のある話を好みます。運動会でも「仲良く平和にみんなでゴールイン」と教えられた 1980 年代や 90 年代生まれの日本人にはついて行けない感覚かも知れませんね。しかしイギリス人の最も好むユーモアは「自分で自分を笑う」行為です。大いに自虐的な面があります。これに対してアメリカ人は他人をダシにして笑うと言われていました。

113) イギリス人は雨が降っていても傘を差さないと聞きましたが、イギリス人にとって、傘は単におしゃれの為ですか？ ⇒ まず、イギリスの雨は日本と違って軽く降って、すぐに止んでしまうことが多いので、雨傘はさほど必要ありません。雨傘の利用については男女差があります。女性の方が傘を差している率が高いです。イギリスの男性がなぜあまり傘を差さないかと言うと、雨傘は（現在の日傘同様）かつては女性の為の道具でした。男性が雨傘を携行していたとしても、それはご婦人に差し出したり、相合傘でエスコートするためだったのです。最初に自分の為だけに雨傘を差した男性は、かなり勇気が要ったのです。現在でもこの名残があるので、イギリスの男性は自分の為だけでは、あまり傘を差したがりません。イギリスでは雨の降る中で雨傘を持っていても開かず歩いている男性を時々見かけます。英国紳士もつらいよ、ですね。

114) イギリスの美しい風景を見ると自然の豊かさに癒されます。⇒ びっくりされるでしょうが、イギリスの自然は日本に比べるとはるかに乏しいです。上野の国立科学博物館が公開しているデータで具体的に示しましょう。まず、日本には約 5,300 種の植物が存在し、そのうち約 1,800 種が日本固有種です。日本の植物に関しては、種類が多すぎて専門家にもまだ正確な数が分かっていません。一方、英国には 1,623 種の植物が存在し、そのうち約 160 種が英国固有種です。周囲を海に囲まれた日英両国ですが、魚類は日本の近海や河川や湖や池沼に 3,850 種が棲息し、そのうち 419 種が日本固有種です。一方、英国の近海や河川や湖や池沼の魚類はわずか 315 種であり、英国固有種は皆無です。固有種がないということは、ヨーロッパのごくありふれた魚と外来種しかないということです。両生類と爬虫類についてはデータを持っていませんが、鳥類では、日本は 542 種です。そのうち日本固有種は 10 種です。英国も鳥類だけは日本同様に 542 種いますが、英国固有種は 1 種のみです。哺乳類では、日本は 107 種です。そのうち日本固有種は 48 種です。英国は 42 種ですが、英国固有種は皆無です。固有種がないということは、ヨーロッパのごくありふれた哺乳類と北米などから人為的に持ち込まれ、在来種を駆逐した外来種しかないということです。大陸との位置関係や、気候・面積が類似した日本とニュージーランド (NZ) と英国を比較します。カッコ内は固有種です。

日本 面積 377,906 平方キロ 首都東京の緯度 北緯 35 度 40 分
 NZ 面積 271,000 平方キロ 首都ウェリントンの緯度 南緯 42 度 41 分
 英国 面積 243,000 平方キロ 首都ロンドンの緯度 北緯 51 度 30 分

	植物	魚類	鳥類	哺乳類
日本	c. 5,300 (c. 1,800)	3,850 (419)	542 (10)	107 (48)
NZ	2,089 (1,654)	1,010 (110)	295 (56)	3 (3)
英国	1,623 (c. 160)	315 (0)	542 (1)	42 (0)

115) 日本は国土の 66.5% が緑なのに、イギリスにはあまり緑がないと聞いてショックでした。⇒ いいえ、違います。それは誤解です。イギリスは緑が豊富です。ここで問題にしたいのは森林被覆率（国土に占める森林面積の率）です。イギリスは僅かに 10% 程度です。これに対して日本は約 66.5%、つまり国土の約 3 分の 2 が森林です。日本は世界に冠たる森林大国なのです。しかし東京、大阪、名古屋、福岡は、その近郊を含めて極端に緑の少ない都市です。このような大都市圏に住んでいると日本が森林大国であることを忘れてしまいます。反対にイギリスは、樹木は

少ないとはいえ、首都ロンドンを含めて国全体が美しい芝生で覆われています。

- 116) イギリスの山は低いのですか？ ⇒ はい。そうです。日本やヨーロッパのアルプス地方に比べると格段に低いです。スコットランド最高峰で、英国最高峰でもあるネヴィス峰 (Ben Nevis) で標高 1,344 メートル、ウェールズ最高峰のスノウドン (Snowdon) で標高 1,038 メートル、イングランド最高峰のスコーフエル・パイク (Scafell Pike) で標高 912 メートルです。
- 117) イギリスには英国式庭園 (風景庭園) しかないのですか？ ⇒ いいえ、そんなことはありません。英国式もフランス式庭園 (整形庭園) も渾然一体です。貴族のお屋敷を見学すると、邸宅に近い場所はこじんまりしたフランス式になっていて、敷地の外周部が英国式庭園 (風景庭園) になっていることが多いです。
- 118) イギリスも日本のような島国ですが、海水浴にはよく行くのですか？ ⇒ いいえ。イギリス人は 19 世紀以来、海浜のリゾート地によく行くのですが、海辺で寝そべて読書したり、走り回ったりするだけで、海水浴はあまりしません。彼らが言うには、イギリス近海は汚染が進んでいるため泳ぎに適さないそうです。見た目にはきれいなのに、もったいないですね。もったいないと言えば、英国中どこに居ても、自動車で 1 時間も走れば海を見ることができます。
- 119) 日英の外国人観光客の数を比較したデータはありますか？ ⇒ 観光客に特化したものではありませんが、2007 年の訪問外国人の数を比較したデータならあります。国連の一機関である世界観光機関 (UNWTO) が公開している “UNWTO World Tourism Barometer, Vol. 6 No. 2” によれば、英国への訪問者は 3067.7 万人です。日本はその 3 分の 1 以下の 834.7 万人ですが、これでも前年の 733.4 万人に比べれば大健闘です。しかしイギリスもフランス 8190 万人、スペイン 5919.3 万人、イタリア 4365.4 万人に大きく水をあけられているので、www.visitbritain.com というウェブサイトなどを通して訪問客の誘致に努めています。
- 120) イギリスには鉄道やバスの均一料金はありますか？ ⇒ いいえ。ありません。但し、ロンドン地下鉄には一日乗車券があります。また、イギリス在住ではない外国人 (非英国人) には「ブリットレイル・パス (Britrail Pass)」という安くして便利な周遊券があります。この周遊券は英国到着後には購入できません。したがって日本人観光客は日本国内の旅行代理店で買って行くことになります。この周遊券がないとイギリス国内の移動に莫大なお金がかかるばかりか、毎回窓口で切符を買う手間も相当なものです。イギリスではその場で切符を買って鉄道に乗り込むととんでもない料金がかかります。また、有効な切符を持たずに乗ると多額の罰金を徴収されます。制度上、2 週間以上前に切符を買っておかないと高額になりますし、往復切符を買わないと、これまたひどい額になります。まるで航空券のように事前予約、往復での購入が前提になっており、これを守らないとお金をたくさん取るという発想です。イギリスの訳の分からない料金体系を避けるためにも、外国人 (非英国人) 専用のブリットレイル・パスを買ってからイギリスへ行きましょう。ちなみに日本にも JR グループ全線有効の外国人専用 Japan Rail Pass が存在します。この周遊券も日本国内では売ってくれません。
- 121) イギリスの鉄道は高くして不便だと聞きましたが、タクシーや地下鉄は移動手段としてどうなのですか？ ⇒ タクシーはかなり高いですが、ボッタクリはありません。きちんとメーターで走ります。イギリスのタクシー客は、お釣りののはした金を受け取らないのが習慣です。ロンドンを走る黒塗りのオースティンという古めかしいタクシーの運転手は、超難関のロンドン地理試験に

合格しています。住所さえ告げればロンドン中どこへでも行ってくれます。一方、ロンドン地下鉄（London Underground; 通称 Tube）は運賃が世界一高く、初乗りで現金4ポンド（ポンド高の時代は約1,000円でしたが、今はポンド安なので約600円）です。しかし日本のSuicaやPasmoのようなOyster Cardを持っていれば、1ポンド50ペンス（約230円）で乗れます。しかしそれでも日本一高い埼玉高速鉄道の初乗り210円よりも高いです。

122) イギリスでは鉄道が信用されていないとすると、移動手段としては何が好まれるのですか？

⇒ 残念なことですが、圧倒的に自家用車が好まれています。鉄道発祥の地でありながら鉄道の人気がなく、アメリカ並みの車社会になってしまいました。2001年のデータでは、イギリスの4世帯中1世帯が自動車を複数台も所有しています。また、平均して10回の移動中たった1回だけバスや鉄道を使います。アメリカよりはまだまだですが、格差社会が進行すると公共交通機関が荒廃して行きます。

123) ブラウン首相はブレア前首相に比べて影が薄いような気がしますが、首相としての働きぶりはどう評価されていますか？

⇒ 前任者のトニー・ブレア氏と比べて影が薄いのは事実です。現在の国民の評価も低いです。もともと経済に強い政治家で、ブレア内閣では財務大臣一筋だったので、2007年9月のイギリスの中小金融機関ノーザン・ロックの経営破綻や、2008年9月の米国大手リーマン・ブラザーズの経営破綻（リーマン・ショック）の時には国民に存在感を示し、荒波にも負けない指導者をうまく演じて人気上昇しました。しかし2009年にはブラウン内閣の閣僚の助成金絡みのスキャンダルが次々と明るみに出て、人気は地に落ちた感じです。もし明日総選挙があれば、ブラウン党首・首相の労働党は確実に負けるでしょう。ちなみにブレア前首相は、首相になったばかりの1997年5月には絶大な人気があり、同年9月6日にダイアナ妃の葬儀を前代未聞の形（たとえばゲイを公言するポップ歌手が王族を前にした葬儀の席で自作の曲を披露）で成功裏に終わらせた時は人気絶頂でした。その後も次々と教育改革をはじめとした制度改革を行ない、世界中の人から尊敬を集めていました。しかし2003年3月19日開戦のイラク戦争で、「独裁者サダム・フセインは大量破壊兵器を隠し持っている」という理屈を捏ね、「ブッシュのブードル犬」と揶揄されるほどの対米追従路線を選択し、国民の反対を押し切る形で米軍と行動を共にして英軍部隊を展開させたことで、人気は急落しました。その後も「ブレアやめろ」コールを無視して2007年6月27日まで首相の座に居座り、「嘘つきブレア」として国民の間に記憶されてしまいました。10年続いたブレア内閣は前半と後半で明暗を大きく分け、全く別の政権のような印象を受けます。「嘘つきブレア」の汚名を晴らして、欧州連合の統合推進役になって、いつの日か「ヨーロッパ合衆国」の初代大統領に就任するのが、ブレア氏の目下の野望なのではないかと勘繰る人もいます。2009年11月2日（月）付の米ニュースウィーク誌（Newsweek）アジア版 pp. 36-37 に、「ブレアを大統領に（Blair for President）」と題した記事が載っています。

124) イギリスでは「自分は無宗教」と言うのと軽蔑されると聞きましたが、本当ですか？

⇒ それは違います。アメリカの話です。イギリスは欧米先進国中、オランダに次いで無宗教の国です。イギリスでは無神論者（atheists）も不可知論者（agnostics）も、キリスト信者（Christians）と堂々と議論ができます。

125) イギリスの人はどのくらいの割合で宗教をもっているのですか？

⇒ イギリス全人口の約6分の5を占めるイングランド人についてしか分かりませんが、日曜日に教会に行く人の割合は僅

か約2%です。100人中2人しか礼拝に行かないのです。そして若者の約77%はいかなる宗教も信じないと回答しています。アメリカとは大違いです。しかし宗教は信じなくても、God（全宇宙を創造した唯一の超絶的存在）の存在は信じている人が多いです。

- 126) イギリスは政治の中心（首都ロンドン）と宗教の中心（総本山カンタベリー）が別々とのことですが、両者が異なる国の方がむしろ多いのでしょうか？ ⇒ 宗教の中心がどこなのかよく分からない国のほうが多いと思います。ちなみに日本では戦前戦中の大日本帝国の時代は三重県の伊勢神宮が国の宗教（国家神道）の中心地でしたが、今は国家元首が誰なのかはっきりしないこともあって（但し、対外的には天皇が元首）、宗教の中心も分かりません。
- 127) カンタベリー大聖堂とチョーサーの『カンタベリー物語』の関連性を知りたいです。⇒ ジェフリー・チョーサー（Geoffrey Chaucer, 1343?-1400）の生きた14世紀のイギリスはまだカトリック国で、日本の四国のような巡礼が盛んでした。カンタベリーは597年に修道士アウグスティヌス（?-604）がイングランドでの布教活動を始めた時から宗教の中心地であり、1173年に聖トマス・ベケットがヘンリー二世の騎士に暗殺されて以来、聖地となり、1387年にチョーサーが『カンタベリー物語』を著した頃には、イングランドの一大巡礼地でした。『カンタベリー物語』とは、カンタベリー大聖堂への巡礼の途中、たまたま宿で同宿した様々な身分や職業の人が、旅の退屈しのぎに自分の知っている物語を順に語っていく「杵物語」です。
- 128) 豪州ブリスベンでホームステイしたら、近所にカンタベリー・スクール（Canterbury School）という学校がありました。これはイギリスの影響なのですか？ ⇒ はい。そうです。豪州では大都市の名前に限らず、郊外の小さな住宅街にもイギリスの地名を付けていることが多いです。ちなみに豪州の地名は大きく3つに分類できます。1) 宗主国であるイギリスの都市名をそのまま拝借した名前。たとえばNewcastleやCanterburyやCardiffやPenrithやPerth。2) イギリス人のお偉いさん（総督など）の名を冠した名前。たとえば最大の都市SydneyやBrisbaneやDarwin。3) 先住民であるアボリジニの言葉に由来する名前。たとえばWoy Woy。
- 129) ユネスコ世界遺産カンタベリー大聖堂（Canterbury Cathedral）のキリスト教会門（Christ Church Gate）の上の方に、人の像がたくさん見えます。中心の青っぽい像は、有名な聖人ですか？ ⇒ はい。青銅製のイエス・キリスト像です。イングランド大内戦（1641-51）のさなかの1642年に議会派の軍勢によって破壊され、その後三世紀半もの間キリスト不在だったのですが、ついに1991年、復元されたキリスト像が再び据え付けられて今日に至っています。しかしなぜ、かくも長い間キリスト像を復元しなかったのかは不明です。ちなみに英国人建築家「コンドル先生」ことジョサイア・コンダー（Josiah Conder, 1852-1920）の教えを受けた辰野金吾（1854-1919）と葛西萬司（1863-1942）設計の東京駅の赤煉瓦駅舎（1914年竣工）も第二次世界大戦中に米軍の空襲を受けて安っぽい姿になってしまいましたが、戦後60年以上経過した2007年5月30日（水）に、竣工当時の優美な姿への復原工事が始まりました。
- 130) 教会や修道院などの廃墟は誰が管理しているのですか？ ⇒ National TrustやEnglish Heritageといった管理・保護・修復団体が存在します。彼らの仕事ぶりには感心させられます。
- 131) 北アイルランドではプロテスタントとカトリックの宗派間対立があるとのことですが、対立があるということは、両者で一緒に仕事をしたり、勉強したりすることはないのですか？ 現地では「プロテスタント信徒用の学校」、「カトリック信徒用の学校」と、厳格に分かれているのです

- か？ また、「警察官＝プロテスタント」とがっちり決められているのですか？ ⇒ 残念なことです。すべてその通りです。イングランド人から見ても、日本人から見ても信じられない世界ですが、それが北アイルランドの実態です。しかしそれでも（ロミオとジュリエットのように）対立し合う側の人と恋愛してしまう人もいて、人目を忍んで秘密生活をおくっています。
- 132) 上記の質疑応答で、「北アイルランドでは人目を忍んで生活している恋人がいる」とのことですが、対立する宗派間の恋愛がバレてしまったら裁判所で裁きを受けるのですか？ ⇒ いいえ。これ自体は何も違法な行為ではありません。周囲の目を気にして、隠れて生活しているに過ぎません。しかしこのような場合、国家より怖いのは、むしろ周囲の一般人の方です。
- 133) イギリスの教会の礼拝には信者でないとは参加できないのですか？ ⇒ 信者であろうとなかろうと、礼拝に参加するのは自由です。また、参加しないのも自由です。イギリスは自由の国です。しかし礼拝に参列している人の99%、或いはそれ以上は信者と考えて間違いありません。
- 134) キリスト教の根本思想にある「右の頬を打たれたら、左の頬も向けなさい」は、「仕返しせず非暴力を貫きなさい」というメッセージだと思いますが、キリスト教徒は「聖人に近づきたい」という一心でこれを本当に守って生活しているのですか？ ⇒ いいえ。信者でも実行するのは難しいです。これを本当に実行したら戦争なんてなくなります。アメリカとイギリスは今でもアフガニスタンで対タリバン戦争を継続しています。イラクでは戦争は終わったことになっていますが、テロリストとの戦いに際限はありません。
- 135) 女性司祭がいるのは、スコットランド教会だけですか？ ⇒ イングランド教会も1992年以来、女性司祭を認めています。女性司祭が実際に按手（laying on of hands）という宗教儀式を実施するようになったのは1994年からです。
- 136) 英国在住のイスラム教徒、ヒンドゥー教徒、シーク教徒の女性たちは、白人女性の自由な生活スタイル（職業選択の自由など）を見て羨ましいとは思わないのですか？ ⇒ これらの「遅れた（backward）」宗教の家庭では、職業どころか結婚相手までも父親が勝手に決めてしまうことが多いです。多くはインドやパキスタンなど、親の本国の男性の家に嫁がされます。自由の国イギリスで生まれ育った女性には大変な苦痛です。パキスタンの嫁ぎ先から逃げてきた女性の話が時々BBCで報道されます。このような女性は「一家に恥をもたらした」という理由で、父親や親類から殺害される危険があります。そして女性を安全な場所に匿うのはイギリスのNPO団体です。多民族多宗教社会の危うさを日本もよく知っておく必要があります。
- 137) イギリスの宗教団体も日本のように優遇税制が適用されているのですか？ ⇒ はい。確かにイギリスでも宗教団体は税法上優遇されています。しかし日英で制度が少し異なります。日本では、宗教法人は公益法人と位置付けられ、本来業務（宗教活動）に係る金融収益には課税されません。そしてもう一つ、もっと大きな問題は、「収益事業又は非公益関連事業（副業）から生じる所得については27%という軽減税率で課税の対象となる」としながらも、本来業務と収益業務の区別が曖昧なため、多くの宗教法人が課税を逃れている点です。たとえば京都の有名なお寺は世界中からやってくる観光客から「拝観料」と称する入場料を取って収益を上げていますが、これは入場料ではなく、宗教的な「祈禱料」と強弁することで税金を逃れています。このような法律の抜け道は、暴力団にとっては旨みのある話です。彼らは近年では宗教法人を買い漁っています。イギリスの宗教団体も日本同様に本来業務（宗教活動）に係る金融収益には課税されませ

ん。しかし収益事業又は非公益関連事業（副業）から生じる所得については通常の法人税率の33%で課税されます（軽減税率は適用されません）。しかしイギリスでは、イングランド教会やスコットランド教会、その他のプロテスタント諸派（メソヂストやクエーカー等）、ローマ・カトリック教会、ユダヤ教団体などイギリスに何百年も根を下ろしている既成宗教を除く全ての宗教団体は、慈善団体委員会による事前審査及び同委員会への年次報告書の提出義務があります。したがって日本の宗教団体ほどには好き勝手なことはできません（首相官邸公式ウェブサイトの「公益法人等課税関係資料（国税関係）」の項 <http://www.kantei.go.jp/jp/zeicho-up/1208/39-2.html> 参照）。

- 138) イギリスは「妥協 (compromise) の国」だそうですが、自前の通貨である「英貨ポンド (the pound sterling)」は、そのうち欧州統一通貨「ユーロ (the euro)」に呑みこまれてしまうのですか？ ⇒ いいえ。当分そんなことはないでしょう。それに揚げ足を取るようですが、単に呑み込まれてしまうのは「妥協 (コンプロミス)」とは言いません。妥協とは新旧両者を併用することを言うのです。英国人、特にイングランド人はエリザベス女王の肖像が描かれた自国通貨に愛着があります。安っぽいデザインのユーロには我慢ならないといった様子です。しかし今の女王が亡くなってチャールズ皇太子が「国王チャールズ三世」として即位すると通貨のデザインもチャールズ王を描いたものに刷新されることになっています。しかしチャールズ王自身がそのことに難色を示し、「ではいっそのことユーロにしよう」という機運が芽生える可能性はあります。ちなみにオランダ王国（国家元首ベアトリクス女王）は、自国の国家元首の横顔を1ユーロ硬貨の裏面に描いた物を流通させています。イギリスの国王がオランダ式に通貨の中で生き続けることも可能です。
- 139) イギリスではポンドもユーロも使っているのですか？ ⇒ いいえ。違います。イギリスでは重さの単位として、英国古来のポンド (lb; pound) とフランス式のキログラム (kg; kilogramme) を併用しています。しかし通貨としては英貨ポンド (the pound sterling) しか使えません。但し、ロンドン・ヒースロウ空港と英領ジブラルタルの商店では例外的に英貨ポンドの他にユーロ (the euro) の使用も認められています。
- 140) イギリスで使われている距離のマイルや、重さのポンドが、どのくらいの単位なのか教えてください。⇒ 初歩的な質問ですね。度量衡は簡単に調べがわかります。フランス式のメートル法に背を向けた大英帝国単位（ヤード・ポンド法）ですが、1マイルは、約1.6 kmと覚えておけば良いです。厳密には、1.609344 kmです。1ポンドは約454 gと覚えておけば良いです。厳密には、453.59237 gです。ちなみにマイル (mile) はラテン語で「千」を表す mille (ミッレ) という単語から来ています。古代ローマの兵士が1千歩の距離を歩くと1マイルなのです。しかし古代ローマでは右と左の2歩で「1歩 (unus passus)」と数えたので、1マイルは今日でいう2千歩なのです。
- 141) イギリスではミルクなどの液体に関する単位はどうなっていますか？ ⇒ ミルクはメートル法の2リットル容器（半透明のプラスチック製）に入った状態で売られています。ジャムは1ポンドの分量の瓶詰めで売られています。ブリュッセルの欧州連合 (EU) の顔色をうかがって454 gと表示しています。これも妥協 (compromise) の精神です。本当は大英帝国単位（ヤード・ポンド法）を使っているのに、表向きはメートル法のグラム表示とすることでEUの批判をうまく回避しているのです。

- 142) イギリスでも贋金事件はありますか？ ⇒ はい。しかし偽硬貨は元手がかかりすぎる割に儲けが少ないので、誰も硬貨は偽造しません。偽札事件は日本なら大ニュースですが、イギリスでは昔からよくある事件です。イギリスでは商店で買い物すると、店員が札を明かりにかざして女王陛下の透かし（watermark）を確認します。これはたとえば客が有色人種だからという理由で疑いの目を向けているのではありません。誰に対してもごく当たり前の行為です。当初は不快ですが、ほぼ毎度のことなので、すぐに慣れます。イングランド銀行は1998年に作曲家エルガーの肖像画を裏面に描いた20ポンド紙幣（表面は相変わらずエリザベス女王）を発行しましたが、偽札防止のため、10年もしないうちに経済学者アダム・スミスの新札（表面は相変わらずエリザベス女王）を出しました。
- 143) イギリスでは新札が出ると旧札は使えなくなるのですか？ ⇒ そんなことはありません。旧札も向こう数年間は市中で使えます。また、市中では受け付けてくれないほど古くなっても、銀行で新しい札に交換してもらえます。話変わって、欧州のユーロ圏の場合、かつての国立銀行系の紙幣はもはや市中では通用しません。フランス・フランなら大都市のフランス国立銀行、イタリア・リラなら大都市のイタリア国立銀行でないと、ユーロには交換してくれません。イタリア国立銀行は営業時間が短いので、両替するのも難儀します。ドイツ・マルクだけはドイツ中どんな田舎町のどんな小さな銀行でもユーロに換えてくれます。
- 144) スコットランドの紙幣は英国全土の店舗で使用することができますか？ ⇒ はい。スコットランドでは、スコットランド銀行、RBS（王立スコットランド銀行）、クライズデイル銀行といった、現地の最大手3行が競って紙幣を発行していますが、1スコットランド・ポンド=1イングランド・ポンドです。イングランド銀行発行の紙幣をスコットランドその他で使うことも、スコットランドの紙幣をイングランドなどで使用することも理論上は可能です。しかしイングランドの店主や店員は、スコットランド紙幣や北アイルランド紙幣を拒絶する権利を有しています。店で一言「スコットランド紙幣を受け入れますか？（Do you accept Scottish banknotes?）」と聞いてからお金を出すと、どこでも快く受け入れてくれます。また、イングランド銀行の紙幣は英国全土で大歓迎なので、このように尋ねる必要もありません。イングランドの紙幣がなぜ歓迎されるかと言うと、世界中で両替が可能だからです。たとえばスコットランドの紙幣を持って渋谷の三菱東京UFJ銀行に日本円への両替を求めても拒絶されません。しかしイングランド銀行券である女王の肖像の入った紙幣であれば問題ありません。ここでもイングランドが優遇されてしまうのです。
- 145) ユーロの硬貨は、裏面が国によってバラバラなデザインを使っているようですが、違うデザインでも他国で使えるのですか？ ⇒ 裏面が違うデザインでも表面が同じなので、問題ありません。ちなみにイギリスの1ポンド硬貨も、表面は女王の横顔で統一（但し、若顔と老け顔の2種類あり）されていますが、裏面はイングランドのデザイン2種類、ウェールズのデザイン2種類、スコットランドのデザイン2種類、北アイルランドのデザイン2種類、それに記念硬貨のデザイン（たとえば西暦2000年にできたミレニアム橋を描いた物）が数種類存在します。
- 146) イギリスの君主制は国民にとって大きな関心事なのですか？ ⇒ はい。そうです。好むと好まざるに拘わらず、イギリス人にとっては大きな関心事です。逆に日本人は、天皇制のことを好むと好まないに拘わらず、なるべく考えないようにしている傾向があります。

- 147) 女王エリザベス二世はイギリスの他にカナダや豪州やニュージーランドの国家元首も兼務しているという理解で宜しいですか？ ⇒ はい。その通りです。連合王国（イギリス）を含む16ヶ国の君主を同時に務めています。
- 148) 日本には「天皇誕生日」という国民の祝日（他にも昭和天皇誕生日だった4月29日「昭和の日」や、明治天皇誕生日だった11月3日「文化の日」）がありますが、イギリスにもそのような祝日はありますか？ ⇒ 「はい」とも「いいえ」とも言えます。まず、Queen's Official Birthday（女王の公式誕生日）なるものが、やはり存在します。イギリス本国では6月の第一または第二または第三土曜日に祝うことになっています。6月はイギリスが最も美しく光り輝いている時期なので、1841年11月9日生まれのエドワード七世（在位1901-10年）の時代から、毎年6月に祝うようになったのです。しかし国民の祝日ではありません。現在の国家元首である女王エリザベス二世は、本当は1926年4月21日生まれです。南半球に位置する豪州では西オーストラリア州を除いて、真冬の6月第二土曜日に祝っています。これは豪州の国民の祝日です。西オーストラリア州だけは、春の訪れを告げる9月の最終月曜日または10月の第一月曜日に祝っています。カナダにはヴィクトリア女王（在位1837-1901年）を記念するVictoria Dayがあります。毎年ヴィクトリア女王の誕生日であった5月24日の直前の月曜に祝いますが、5月24日が月曜日の場合は24日に祝います。この月曜日はカナダの法定休日です。ニュージーランドでは真冬の6月第一月曜日が女王の公式誕生日になっています。
- 149) イギリスでは6月にQueen's Official Birthday（女王の公式誕生日）があるそうですが、どんな行事があるのですか？ ⇒ 首都ロンドンでTrooping the Colourが繰り広げられます。これは直訳すると「連隊旗を先頭に立てて分列行進すること」で、「連隊旗敬礼分列式」の意味です。別名Queen's Birthday Parade（女王の誕生日パレード）としても知られています。女王によるBirthday Honours（勲章授与式）も、この「誕生日」に行なわれます。
- 150) 1603年にエリザベス一世が亡くなり、スコットランドのジェームズ六世がイングランドの「ジェームズ一世」として、イングランドとスコットランドの国王を兼務したと習いましたが、実際の政務はどちらの国で行なったのですか？ ⇒ 国王ジェームズが政務を執り行なったのは、イングランドの首都ロンドンでした。ちなみにイングランドの国王になって間もない1605年11月5日には、ロンドンの国会議事堂（但し、現在の建物とは違う建物）でカトリック信徒ガイ・フォークス（Guy Fawkes, 1570-1606）の一味による国王暗殺及び議会爆破未遂事件が起きました。ガイ・フォークスは捕まって翌1606年1月31日に処刑されましたが、人々は国王と議会の無事を祝って、そして「悪どいカトリック信徒」を呪って毎年11月5日の夜にGuy Fawkes Night（別名「篝火の夜（Bonfire Night）」）という行事に興じています。今でも続く年中行事であり、イギリスに冬の訪れを告げる風物詩ですが、カトリック信徒の人々は反発しています。
- 151) 聖公会信徒なら日本人でも英国王室に嫁ぐことはできますか？ ⇒ いいえ。北部ヨーロッパ系のプロテスタントの白人でないと、まず無理でしょう。法律で決まっているわけではありませんが、人種の問題があります。これは差別や偏見ということではありません。遺伝の問題です。遺伝の過程において、色の黒い方の人種の遺伝子が白い方の人種の遺伝子を凌駕してしまいます。たとえばアメリカ大統領バラク・オバマ氏は、父親が黒人で母親が白人ですが、人々は彼を「黒人」として認識しています。黒人の遺伝子が文字通り色濃く反映された結果です。白人と黄色人

種の間にも生まれた子 (Eurasian; 欧亜混血児) についても人々は黄色人種として認識します。王室の血筋が黄色人種に乗っ取られるのは心情的に納得できないでしょう。

152) ナマズ研究をしている秋篠宮殿下のように、英国王室にも何か研究している王族はいるのですか? ⇒ いいえ。伝統的に英国上流階級は、高等教育 (higher education; 紛らわしい名称ですが、高等学校よりも上の教育を指します) には冷淡です。また、伝統的に労働者階級は教育そのものに冷淡です。高等教育とは元来中産階級のもので、しかし戦後の日本皇室は昭和天皇の海洋生物 (特にクラゲやイソギンチャク) 研究に始まって、今上天皇の魚類 (特にハゼ) 研究、次男の秋篠宮のナマズ研究という具合に学者の家系ということになっています。長男で皇太子の徳仁親王も皇太子になる以前、浩宮 (Prince Hiro) と呼ばれていた頃、オクスフォード大学マートン学寮で英国水上交通史 (特にテムズ川の水運史) を研究し、帰国後に学習院大学大学院から人文科学修士の学位を取得しました。英国王室もチャールズ皇太子の代になると、学位取得のために大学に入学するようになりました。チャールズ皇太子は (かつて祖父のジョージ六世が学位取得を目指さない1年間の遊学をしたことでも知られる) ケイムブリヂ大学三位^{トリニティー}一体学寮に入学し、当初は人類学と考古学を、転じて歴史学を専攻し、文学修士の学位を取得しています。

153) 英国王室御用達の商品はどのようにして決められるのですか? ⇒ 揚げ足を取るようですが、「英国王室御用達」は存在しません。日本の業者が勝手にそう呼んでいるだけです。デンマーク王室御用達 (By appointment to the Royal Danish Court) なら存在します (たとえばビールのカールスバーグ、或いはデンマーク語でカールスベア)。英国の場合は個人主義が徹底しているので、存在するのは、女王陛下御用達 (By appointment to Her Majesty Queen Elizabeth II) (たとえば紅茶のトワイニングズ) と、皇太子殿下御用達 (By appointment to His Royal Highness Charles, Prince of Wales) (たとえばウイスキーのラフロイグ) と、エディンバラ公御用達 (By appointment to His Royal Highness Prince Philip, Duke of Edinburgh) の3つだけです。2002年までは皇太后陛下御用達 (By appointment to Her Majesty Queen Mother Elizabeth) もありましたが、本人逝去に伴って廃止されました。なお、ダイアナ妃には御用達はありませんでした。ダイアナ妃と言えば、パリで一緒に事故死したエジプト人の愛人がいました。この父親 (もちろんエジプト人) が、英国の対外諜報機関 MI6 (エマイシックス) によって愛息が暗殺されたと信じ続け、英国上流階級に対する憤怒の念から、自らが経営するロンドンのハロッツ・デパートに掲げられた4つの御用達をすべて返上して今日に至っています。これでは回答したことにはなりませんね。王室に商品を一定の個数納めると、御用達の認可が下りる場合があります。

154) ダイアナ妃が英国諜報機関に「消された」という話は本当ですか? ⇒ これはエジプトを中心に広まった噂であり、何の裏付けもありません。パリ警視庁の公式見解では、スピードの出し過ぎによる事故死です。噂が広まった背景には、あの事故が偶然にしては出来過ぎていて、英国支配層にとって最も都合な結果に終わったことがあります。ダイアナ妃がアル・ファイド家の御曹司と結婚するとなると、イスラム教に改宗させられた筈です。イスラム教は異教徒との結婚を許さず、おまけに男尊女卑の伝統があるからです。「ダイアナ再婚」の暁には、将来の国王「ウィリアム五世」の母親がイスラム教徒という事態に陥り、イスラム教徒の異父兄弟まで出てくる始末だったかも知れません (事故当時妊娠していたという噂まであります)。異父兄弟は王位継承権こそ有していませんが、「ダイアナ再婚」は想定しうる最悪のシナリオでした。ダイアナ妃

が消えてくれて一番安堵したのが英国王室であり、英国政府でした。

- 155) 将来大多数の国民が、国王チャールズ三世（現チャールズ皇太子）が国王としてふさわしくないと考えたら、共和制に移行する可能性もありますか？ ⇒ いいえ。チャールズがふさわしくないとせば、王位継承権第二位のウィリアム王子が国王ウィリアム五世として即位することが可能です。共和制になることはないでしょう。宗教的狂信者ピューリタンたちによるイングランド共和国時代（1649-60）の嫌な記憶があるため（もちろん当時の人はもう生きていませんが）、英国人（特にイングランド人）は共和制に不信感を抱いています。MORI（Market & Opinion Research International）が2005年10月にフランスのIpsosに買収されてできた英国大手アンケート調査団体Ipsos MORIが2006年4月20日（木）から22日（土）にかけて調査を行ない、同24日（月）に発表した最新の調査結果では君主制の支持率は72%で、共和制を希望する18%とは歴然たる差があります（残り10%は意見なし）。Ipsos MORIの公式ウェブサイト（<http://www.ipsos-mori.com/researchpublications/researcharchive/poll.aspx?oItemId=378>）を参照。
- 156) 英国人は女王を宗教的な意味で敬っているわけではないようですが、王室を廃止しないのはなぜですか？ 英国人は王室に何を期待するのですか？ ⇒ 極端な変化を嫌う国民性だから王室を廃止しないのでしょう。廃止してしまうより存続させたほうが英国の対外的なイメージや外交にプラスに働く。カネはかかるが残したほうが得策だ、という現実的な意見が多いです。個人的に女王が好きだから存続してほしいという人も多いです。
- 157) イギリスはいまだに世襲の君主制だとのことですが、このような政治形態がイギリス人には合っているのでしょうか？ ⇒ はい。合っているのだと思います。しかし国民は王族にペコペコと媚び諂うのではなく、批判すべき点は批判し、笑うべき点は平気で笑いのめすのです。テレビ放送されて人気を博した『瓜二つ（*Spitting Image*）』（1984-96）というデフォルメされた人形劇では、女王を含む王族の操り人形がしばしば登場し、コミカルな寸劇を演じました。
- 158) 英国は王制でエリザベス女王が君臨していますが、英国人にとって女王はどのような存在なのでしょう。日本人にとっての天皇のような感覚でしょうか？ それとももっと影響力があるのでしょうか？ ⇒ 天皇よりも影響力があり、なおかつ国民に愛されています。しかし天皇とは違い、国民の激しい批判に晒されることもあります。たとえば1992年11月20日（金）にロンドン郊外の王室所有の城館ウィンザー城から火の手が上がり、半焼した事件がありました。王族が火事を起こしたわけでもないのに、国民が修復費用の莫大さに腹を立て、「これからは女王も税金を払え」という声が巻き起こりました。女王はこれに屈服し、その後は国庫に税金を納め続けています。また、1997年8月31日（日）にダイアナ妃がエジプト人の愛人とともにパリのトンネル内で事故死した後の1週間は王室存亡の一大危機でした。「王族の態度が冷淡すぎる」と、怒りの声が巻き起こり、共和制への移行さえも議論されるようになりました。バッキンガム宮殿に王室旗を半旗で掲げないのは、女王がスコットランドにて静養中でロンドンに不在だったため仕方ないこと（バッキンガム宮殿は君主が居るときしか王室旗を掲げない伝統がある）であったにも拘わらず、「哀悼の意を表す半旗も掲げないとは何事だ」と国民の怒りは収まりませんでした。これについては王室側もついに妥協して伝統を破り、女王が戻ってくる前に半旗を掲げました。前代未聞のことです。スコットランドのバルモラル城に引き籠って沈黙を続け、国民の前に姿を見せない女王に対して国民の怒りが爆発し、「ダイアナに冷たすぎる」という声が益々大き

くなりました。事の詳細は映画 *The Queen* (邦題『クイーン』)(2006年)を御覧になると良く分かります。女王は国民の怒りが理解できず苦悩します。そして僅か数ヶ月前に首相になったばかりの若きトウニィ・ブレア氏の忠告に従うという内容です。その若造のブレア氏に向かって、「私の最初の首相はチャーチル氏でした(My first Prime Minister was Mr Churchill.)」と言い放つ場面がなんとも言えない味わいがあります。今や心理戦と化した新旧対決の緊張感とその哀愴がよく伝わってきます。ちなみに英国で首相のことを my Prime Minister, 政府のことを my Government と呼べるのは、国家元首のエリザベス女王を措いて他に居ません。当事者たちがまだ存命中の生臭い話を「歴史」として描いてしまうイギリスの映画人には脱帽です。

- 159) 英国王室は日本皇室とは違い、国民の税金で暮らしているわけではなく、自主採算制と聞きました。広大な屋敷の税金を納めるには大きな収入源が必要だと思いますが、株などへの投資以外の収入にはどんなものがありますか？ ⇒ 女王所有の競走馬の稼ぎや、ウィンザー城への入場料や、夏季8週間限定のバッキンガム宮殿への入場料が収入に含まれます。今や王室ですら、他の没落貴族のように観光収入に頼っています。しかし自主採算という言葉は少々大袈裟です。2007年5月30日(水)付の英タイムズ紙(The Times)によると、日本の納税者は天皇皇后を含む22人の皇族を養い、英国の納税者は女王とその夫の2人のみ養っている。日本皇室は1,100人の公務員を国民の税金で雇い、英国王室は470人(そのうち350人はバッキンガム宮殿勤務)のスタッフを国民の税金で雇っている。ロンドンのバッキンガム宮殿は夏季8週間、入場料を取って一般公開しているが、東京の皇居は年2日だけ一般参賀を受け付ける(但し、バッキンガム宮殿と違い、建物の中には入れない)とのこと。詳しくは、タイムズ紙の公式ウェブサイト(<http://www.timesonline.co.uk/>)に載った記事(<http://www.timesonline.co.uk/tol/news/uk/article1857043.ece>)をご覧ください。
- 160) 一般人でもバッキンガム宮殿の中に入れるとは驚きました。どの国の観光客が一番多いのでしょうか？ ⇒ 分かりません。そのような国別データがないからです。なぜデータがないかというと、宮殿への入場の際に国籍チェックなどしていないからです。
- 161) 日本ではダイアナ妃の人气が今でも高いですが、イギリスではどうですか？ ⇒ イギリスでも人气が続いています。2002年に英国放送協会(BBC: British Broadcasting Corporation)が行なった「偉大な英国人」投票で第3位にランクインしました。それでも1981年の婚約発表の直後や、1997年の事故死直後の熱狂から比べれば、その人气も沈静化しています。
- 162) 英国の赤い郵便ポストは、設置された時代の君主のラテン語によるイニシャル(たとえば女王エリザベス二世の場合はER II)がつくと習いましたが、郵便ポストはどんどん増えていくのですか？ それとも古いポストは破棄されてしまうのですか？ ⇒ 新しいポストが増えて行きます。イギリス人は古い物を大切にしておいて有難がるので、古いポストも破棄しません。ヴィクトリア女王(在位1837-1901年)のポストも残っていて、実際に一般市民によって使用されています。
- 163) 日本の郵便ポストは明治、大正、昭和、平成のような天皇の治世による区分はないと思いますが、日本にも英国のように天皇の治世や首相の任期によって改められる物はあるのでしょうか？ ⇒ 目に見える物としては何も思いつきません。日本には、大正9年(本学の前身「日本女子高等学院」の創立年)のような天皇による目に見えない時間支配の概念があります。大正9年とは、「大正天皇の9年目の治世」という意味です。他方、英国の君主は、天皇のような形での時間支

配は行なっていません。

- 164) 英国の郵便ポストに君主のイニシャルがラテン語で書いてあるのはなぜですか？ ⇒ ラテン語は英語よりも権威があるからです。王室の権威を示すためにわざとラテン語を使うのです。本学の80年館正面入口にも AEQUABILITER ET DILIGENTER (アエクアービリテルエットディールイゲンテル: 着実にして勤勉) と FIAT LUX (フィーアト・ルクス: 光あれ) の文言がありますが、これも権威づけです。なお、英国王室の紋章にはフランス語で, Dieu et mon droit (デュウエモンドロワ: 神と我が権利) と Honi soit qui mal y pense. (オニソワキマルイプォーンズ: 思ひ邪なる者に禍あれ) の文言があります。また、英国王室主催の晩餐会の献立表はすべてフランス語で書かれています。フランス料理しか出てこないからです。飲み物もフランスワインです。
- 165) 英国王室やイングランドやスコットランドを含めてイギリスの紋章にはなぜライオンが頻繁に登場するのですか？ ライオンはイギリスには元々生息していないと思うのですが。 ⇒ 七つの海を支配したイギリス帝国の象徴だからです、と言いたいところですが、実はそれどころか世界支配に乗り出す以前からイングランド王国は既にライオンを用いていました。強くて勇敢な百獣の王ライオンを理想としたからです。
- 166) 英国王室の紋章に描かれた一角獣(ユニコーン)は架空の動物とのことですが、なぜ描かれているのですか？ ⇒ ユニコーンは「神聖な力」と「純潔」の象徴です。元来はスコットランド王家の象徴であり、1707年にイングランド王国とスコットランド王国が一緒になってグレートブリテン王国が成立して以後、英国王室の紋章にはユニコーンが右側に描かれるようになりました。つまり左のライオンがイングランド王家を、右のユニコーンがスコットランド王家を表しています。
- 167) 英国王室の紋章に、フランス語で呪いのような詞 Honi soit qui mal y pense. (オニソワキマルイプォーンズ: 思ひ邪なる者に禍あれ) が書かれているとのことですが、物騒で怖いです。しかしこれはなぜですか。 ⇒ この呪いのようなフランス語は、英国で最高の勲章とされるガーター勲章に書かれた詞です。この詞には次のような逸話があります。1348年に国王エドワード三世(Edward III, 1312-77)と、その長男エドワード黒太子(Edward, the Black Prince, 1330-76)が、ガーター勲騎士に任命した24人の騎士達をウインザーに召集してガーター騎士団を設立した頃、エドワード三世が舞踏会で貴婦人とダンスを踊っていると、或る貴婦人の靴下止め(garter)が外れて落ちた。それを見た周りの紳士淑女は忍び笑いをしたが、エドワード三世は何食わぬ顔でそれを拾い上げ、「思ひ邪なる者に禍あれ」とフランス語で言って自分の足に付けたという話です。この靴下止めを落としたとされる貴婦人は、後に再婚して長男エドワード黒太子の妃となったソールズベリー伯夫人 Joan of Kent (1328-85) であると言われていました。
- 168) 英国王室の紋章はなぜ英語ではなくフランス語が書かれているのですか？ エドワード黒太子の時代には百年戦争でフランスと交戦していた筈ですが。 ⇒ まず、イングランドの王室は1066年にフランス北部のノルマンディーからやって来た征服王朝であり、フランス語話者でした。14世紀になっても、イングランドの宮廷言語はフランス語でした。そのため、エドワード三世も靴下止め(garter)を拾い上げた際、フランス語でそのセリフ(Honi soit qui mal y pense.)を吐いたのです。百年戦争(the Hundred Years' War, 1337-1453)に際しての敵味方という観点では、フランス語は確かにイングランドの敵方であるフランス王家の言語でしたが、イン

グランドの味方についてブルゴーニュ公国 (Duché de Bourgogne; Duchy of Burgundy) の言語でもありました。フランス語は敵の言語であると同時に味方の言語でもあったのです。この靴下止め的一件から 14 年後の 1362 年に、エドワード三世は従来のフランス語に替えて英語を裁判と政治の公用語と決めました。しかし宮廷では相変わらずフランス語の優位が続きました。国王が公式の場で初めて英語を使ったのは、さらに 37 年後の 1399 年 10 月 13 日のヘンリー四世の戴冠式のことです。また、「交戦相手国が憎ければその言語まで憎い」(日本流に言うと「坊主憎けりゃ袈裟まで憎い」と考えるようになったのは、全面戦争 (total war) という概念の生まれた 20 世紀に入ってからです。それ以前は交戦相手国の言語であっても、これといった反発はありませんでした。その「坊主憎けりゃ」が最高潮に達したのが、イギリスでは第一次世界大戦 (the Great War; the First World War, 1914-18) の時です。大戦勃発の 3 年後でドイツとまだ交戦中だった 1917 年、英国王室はサククス・コウバーク・アンド・ゴース家 (the House of Saxe-Coburg and Gotha; 但し、ドイツ式にはザクセン・コーブルク・ウント・ゴータ家 das Haus Sachsen-Coburg und Gotha) という極めてドイツ的な家名からウィンザー家 (the House of Windsor) に改名し、今日に至っています。当時の反独感情 (anti-German sentiments) を考慮したからです。現女王の夫の家系の名門貴族マウントバッテン侯爵家・伯爵家も元来は在英ドイツ人ですが、やはり第一次大戦中に反独感情を考慮してバッテンベルク (Battenberg) から英国風のマウントバッテン (Mountbatten) に改名しました。「ベルク」がドイツ語で「山」を表すので、これを英語の「マウント」に変えて「バッテン」の前に持ってきたわけです。なお、マウントバッテン伯爵 (Earl Louis Mountbatten, 1900-79) ・海軍元帥・最後の英領印度総督は、第二次世界大戦中、ビルマ戦線で日本軍を倒した英雄です。戦後も一貫して日本人を憎み続けた人であり、チャールズ皇太子 (Prince Charles, b. 1948) の大伯父にして心の師 (mentor) でもありましたが、1979 年にテロ組織アイルランド共和軍 (IRA: Irish Republican Army) の爆弾で暗殺されました。なお、チャールズ皇太子にはもう一人の心の師 (mentor) として作家のサー・ローレンス・ヴァン・デル・ポスト (Sir Laurens van der Post, 1906-96) がいました。そしてヴァン・デル・ポストの心の師 (mentor) はスイスの精神分析学者カール・ユング (Carl G. Jung, 1875-1961) と日本人船長の森勝衛 (Katsue Mori, 1899-1989) でした。この有名な作家は 1942 年に運悪く日本軍の捕虜になり、終戦までの 3 年間、惨たらしい仕打ちを受けました。その苛酷な体験は大島渚 (b. 1932) 監督の映画『戦場のメリークリスマス』(英題 *Merry Christmas, Mr. Lawrence*) (1983) で描かれています。マウントバッテン伯爵もヴァン・デル・ポスト勲爵士も大正時代の 1920 年代に訪日したときは各地で大歓迎を受けましたが、昭和時代の暗黒の 1940 年代に最悪な形で日本と再会してしまったわけです。一方、日本では「坊主憎けりゃ袈裟まで憎い」が最高潮に達するのは太平洋戦争 (the Pacific War, 1941-45; 但し、当時の言い方では「大東亞戦争」) の時です。米英に宣戦布告した大日本帝國で英語は「敵性語」とされ、学校教育の現場から英語科目が外されて行きました。しかし完全に禁止されたわけではなかったもので、たとえば海軍兵学校 (略して海兵) では「英語のできない海軍士官は使い物にならない」という理由で英語教育を続けました。本学の前身、日本女子高等學院では英語の授業のみならず、英語・英文学研究も継続しました。理事長 (当時) の人見圓吉 (1883-1974) は 1941 年 12 月 8 日 (月) の朝、全校生徒を東中野の校庭に集めて訓示を垂れています。『あなたがたはデマに惑わされることなく、落ち着いて学業を続けるように……。』

そして最後に念を押されるように、『みなさんもご承知のように、わたしたちの学校には英、米国人の先生がいらっしやる。決して失礼な態度をしないように。』と話を結ばれた。」(卒業生戸塚和子氏の述懐; 光葉同窓会編集委員会編, 人見楠郎, 保坂都監修『人見東明全集 別巻』1980, p. 274)とあります。別のところでは「戦争は短期的現象だ、やがて永い平和の時代が来る, そのための準備をととのえておかねばならない。なるほど英語は今は敵国語であるが, 他面世界語ないし国際語的特性を持っておる言葉だから, その研究を怠ってはならないのだ。」(早稲田大学の上井磯吉教授の述懐; 昭和女子大学七十年史編集委員会編『昭和女子大学七十年史』1990, p. 142)とも語っていたとのこと。

169) どうして現王室の祖先であるドイツの田舎貴族が英国王に成れたのですか? ⇒ のちに英国王ジョージ一世となるゲオルク・ルートヴィヒの母ゾフィーのそのまた母親エリーザベトの父親が, 英国王ジェームズ一世(在位 1603-25年)だったからです。この頃, イングランドでは王位継承者をめぐむ問題が起こっていました。亡くなった国王ウィリアム三世(在位 1689-1702年)には実子がおらず, その後継者とされたアン女王(在位 1702-14年)の子も悉く夭逝していました。アン女王には異母弟ジェームズがいましたが, ジェームズは父ジェームズ二世(在位 1685-89年, 1701年歿)と同じくカトリック信者でした。カトリックを信ずる国王を望まないイングランドの議会は, ジェームズを新国王「ジェームズ三世」として迎えることを拒絶しました。議会はステュアート家の血を引き, かつプロテスタントであるゾフィーの子孫のみが国王となることができるとする「王位継承法」を1701年に制定しました(その後, 1707年にイングランドとスコットランドが一緒になってグレートブリテン王国が成立してからも, この法律は効力を保ちました)。この法律に基いて, 1714年ドイツ貴族ゲオルク・ルートヴィヒが英国王ジョージ一世として迎えられたのです。国王に英語ができない点が, 議会にとっては却って好都合だったわけですが。意思疎通にはフランス語を使用しました。

170) 英国国旗 Union Jack (厳密には Union Flag) でウェールズが無視されているのはなぜですか? また, ウェールズ人は現状に満足していますか? ⇒ ウェールズは中世以来イングランドに呑み込まれて一体化しているからです。1282年以来 700年以上もイングランドに事実上支配され, 今日に至るも法律や学校制度までイングランド式にされてしまったウェールズでは独立の気概が薄く, 現状に満足しているようです。しかしウェールズ人の国会議員が下院「庶民院」でこの問題を取り上げ, ウェールズのシンボルを含む新しい国旗を考案するよう政府に要求しました。これには世界から反響があり, 特に日本から多くの新しいデザインが届いたとのことですが, 2007年12月1日(土)付の高級紙日刊テレグラフ紙(The Daily Telegraph)に掲載されました。しかしウェールズ国旗やシンボルがユニオン・ジャックに加わる可能性は薄いです。

171) イギリスで「アジア系(Asian)」といえばインド・パキスタンの人々のような顔の彫りが深くて肌の黒っぽい人種を指すそうですが, 日本人や中国人や韓国人はどのように分類されるのですか? ⇒ 東洋人(Orientals)という括りです。

172) アメリカに行ってイギリス発音で話すと「気取っている」と思われませんか? ⇒ これには個人差がありますが, イギリスに行ってアメリカ発音で話すよりも反発は少ないです。それにアメリカ人はイギリスに劣等感を抱き, ドイツを崇拝し, フランスに憧れる人も多いので, イギリス英語を話すことで尊敬されることも多いです。国連で No. 2 の地位(副事務総長)にまで昇り

つめた日本人の明石康 (b. 1931) 氏の話では、外交の世界でアメリカ英語を使うと相手に信頼されません。したがって外交官はイギリス英語を話すべしとのことでした。但し、あまりにも完璧なイギリス英語だと、かえって相手の不信感を助長してしまうので、少しでもお国訛り（たとえば日本人なら日本訛り）を混ぜたイギリス英語が一番良いとのことでした。

173) イギリスとフランスの二国間は歴史的に仲が悪い印象を受けますが、イギリスとイタリアの関係はどうですか？ ⇒ 第二次世界大戦時 (1939-45年) に 1939 年から 43 年まで、独裁者ムッソリーニ率いるイタリアとイギリスは戦争をしました。しかしイタリア軍の爆弾はイギリス本土にただの 1 発も飛んできませんでした。イタリア軍は前評判とは裏腹に弱い軍隊でした。イタリアの友軍だったドイツは連日連夜イギリスに爆弾の雨を降らせ、壊滅的な損害を与えた憎っき存在ですが、イタリアにはそのようなイメージはありません。それにイタリアは 18 世紀から英国上流階級の家で独身男性が遊学しに行く目的地でした。これを *grand tour* と言います。敢えて訳せば「大周遊旅行」です。19 世紀の終わり頃になると、金持ちの「中の上」階級の男女も加わります。イタリアはイギリス人にとっての憧れの土地なのです。戦争を経てからもこの良好なイメージは変わっていません。

174) 日本はアメリカと仲が良いようですが、イギリスはどの国と仲が良いのですか？ ⇒ イギリスの一般国民のレベルでは個人差があって一概には言えません。しかし国レベルではまず何をおいてもアメリカ合衆国と親密です。その親密さは日米関係のおそらく十倍ぐらいあると思います。2001 年 9 月 11 日 (火) に起こった「米国同時多発テロ」の犠牲者の数とその親密さを物語っています (英国人犠牲者の数は日本人犠牲者の約十倍)。また、英連邦諸国とは国対国の間柄を超えた関係です。英国政府はワシントンや東京には大使 (Ambassador) を派遣しますが、オタワやキャンベラなど英連邦の首都には大使の代わりに高等弁務官 (High Commissioner) を派遣します。「外国ではない」という感覚だからです。これに次いで仲が良いのはフランス共和国です。1904 年の *Entente Cordiale* (アントアント・コルディアール; 原義は「心からの相互了解」; 日本の世界史教科書では「英仏協商」) 以来、親密な関係にあります。2008 年に国賓として英国を訪問したフランス共和国のサルコジ大統領と一緒に並んだ共同記者会見の場でイギリスのブラウン首相は、「これからの両国は *Entente Formidable* (アントアント・フォルミダブル; 「強固な相互了解」の意) で行きましょう」と高らかに宣言しました。国民レベルでは英仏両国民は悪口を言い合っていますが、政府間は良好な関係です。また、日英関係も、国民レベルでは過去の日英戦争のせいで日本嫌いのイギリス人が多いとはいえ、政府間は良好な関係です。イギリスから見ると、日本は周囲に友達 (友好国) のいない孤立した印象です。それどころか、ロシア、中国、北朝鮮、韓国 (それに最近では台湾も) という敵意を剥き出しにした国々に取り囲まれた印象さえ与えてしまいます (『学苑』817 号の拙論「訪日・滞日イギリス人のカルチャーショック」の事例 229 番参照)。

175) イギリスの国民的な歌は何ですか？ ⇒ イギリスには校歌や社歌の類はなく、皆で口ずさめる愛国歌がいくつもあります。有名なところでは、アーン作曲 “Rule Britannia” (ブリタニアよ、支配せよ)、エルガー作曲 “Land of Hope and Glory” (希望と栄光の国)、パリー作曲 “Jerusalem” (エルサレム)、ホルスト作曲 “I Vow to Thee My Country” (我は汝に誓う、我が祖国よ) があります。

176) 「エルガーは盲目的愛国主義者 (jingoist) である」とどこかで聞いたことがありますが、どの

辺りにそれが表れているのでしょうか？ ⇒ これはエルガーに対する最大の誤解です。確かに日本やアメリカでは、そのように誤解する人が多いような気がします。誤解の基になっているのは、「威風堂々」行進曲第一番（“Pomp and Circumstance” March No.1）に Benson の愛国的・帝国主義的な歌詞をつけた「希望と栄光の国」（“Land of Hope and Glory”）です。「この行進曲に歌詞をつければ世界中に広まるぞよ」と言ったとされる国王エドワード七世の助言から歌詞がついたのですが、エルガー本人が同意したとはいえ、このような帝国主義的・拡張主義的な思想をエルガーが抱いていたという証拠はありません。それにたとえそのような思想を抱いていたとしても、20世紀初頭の英国中産階級にはごく当たり前のことですので、21世紀の我々が現代の基準でとやかく言っても仕方がありません。

177) 「螢の光」も「故郷の空」も日本の歌だと思っていたのに、元々はスコットランド民謡だと知ってショックでした。しかも詞の内容が、私たちが知っている日本語の歌詞とは似ても似つかないものだなんて。他にもスコットランド民謡に日本で無関係な歌詞をつけた歌はありますか？ ⇒ スコットランド民謡では他に思いつきませんが、日本では明治以降に、欧米の歌に日本語の歌詞をつけた物が多数存在します。たとえばアイルランド民謡 “The Last Rose of Summer”（夏の最後のバラ）は、里見義（1824-86）作詞による「庭の千草」として日本でよく知られています。第一連にこうあります。「庭の千草も虫の音も 枯れて淋しくなりにけり/ああ白菊 ああ白菊 ひとり遅れて咲きにけり」と。しかし原詞では、‘Tis the last rose of summer/Left blooming alone; /All her lovely companions/Are faded and gone; /No flower of her kindred, /No rosebud is nigh, /To reflect back her blushes, /To give sigh for sigh.（そは夏の名残りのバラなり/一輪で咲き残り/麗しき仲間みな/色褪せ消ゆ/身寄りのある花もなく/バラの蕾も近くに居らず/その赤らみを映し返すべくも/溜息に溜息で返すべくも/原田試訳）となっています。

178) 文部省唱歌「故郷（ふるさと）」はイギリス国歌 “God Save the Queen” によく似ているような気がしますが、もしかして盗作ですか？ ⇒ はい、その可能性はあります。「故郷（ふるさと）」（1914）の作曲者とされる岡野貞一（1878-1941）もイギリス国歌をどこかで聞いていたでしょう。他にも、山田耕筰（Kóścak Yamada, 1886-1965）の「この道」（1927）は北アイルランド民謡 “Londonderry Air”（またの名を “Danny Boy”）の、同じく山田耕筰の「赤とんぼ」（1927）はドイツの作曲家ローベルト・シューマン（Robert Schumann, 1810-56）の「ピアノと管弦楽のための序奏つき協奏的アレグロ ニ短調」作品 134（Concerto-Allegro with Introduction for Piano and Orchestra in D minor, Op. 134）（1853）の、それぞれ盗用疑惑があります。もう少し新しいところでは、浜口庫之助（1917-90）作曲の「バラが咲いた」（1966）もドイツの作曲家ヨハンネス・ブラームス（Johannes Brahms, 1833-97）の「大学祝典序曲」作品 80（ドイツ語の原題は Akademische Festouvertüre, Op. 80; 英題は Academic Festival Overture, Op. 80）（1881）の盗用だと思います。

179) 日本の国歌「君が代」は日本人の林廣守が作曲したと学校で習ったような気がしますが、本当にイギリス人が作曲してドイツ人が編曲したのですか？ ⇒ そうです。まだ明治になったばかりの 1869 年、明治政府の依頼で英国陸軍軍楽隊のフェントン（John William Fenton, 1828-90）が原曲を作曲しましたが、うまく歌えないことが判明し、ドイツ人音楽教師エッケルト（Franz Eckert, 1852-1916）と宮内省（現在の宮内庁）の役人林廣守（1831-96）が編曲しました。林は編曲

と撰定にのみ携わりましたが、日本の文部科学省は「林廣守作曲」という嘘の情報を流し続けています。ちなみにオーストリア政府は自国の国歌がモーツァルト (Wolfgang Amadeus Mozart, 1756-91) 作曲であるとする嘘の情報を流していますが、偽作説が現在では定説です。隣国ドイツはオーストリアの大作曲家ハイドン (Joseph Haydn, 1732-1809) がオーストリア皇帝を称えるために作曲した曲を盗んで現在でも使っています。ドイツ政府の見解によれば、曲の完成の時点 (1797年) では、ドイツもオーストリアもなく、ともに神聖ローマ帝国であり、称えた対象も神聖ローマ皇帝フランツ二世 (但し、1806年の帝国解体以降はオーストリア皇帝フランツ一世) なので問題ないとのこと。しかしオーストリア政府は難色を示しています。また、大韓民国国歌「愛国歌 (エーグッカ)」は、独立後の3年間はスコットランド民謡 “Auld Lang Syne” (邦題「螢の光」) の旋律に愛国的な歌詞をつけた歌でした。アメリカ合衆国国歌は、飲み会で歌われていたイギリスの古謡に、無関係な愛国的かつ好戦的な歌詞をつけたものです。スイス連邦国歌は1970年まで英国国歌の旋律を借用していました。無関係な歌詞を4つの公用語 (独仏伊とロマンシュ語) でつけて歌いました。そして隣国のリヒテンシュタイン公国は、今でも英国国歌の旋律に無関係なドイツ語の歌詞をつけて国歌と称しています。国歌は意外にいい加減です。

- 180) 日本の国歌「君が代」がフランスやアメリカのような革命ソングや軍歌でなくて良かったです。⇒ 日本の国歌も革命ソング兼、政治的コマーシャルソングになった可能性もあります。明治維新の頃に流行した「トコトンヤレ節」をご存知ですか。日本人で知っている人は少ないのですが、イギリスの上流や中産階級の人なら知っています。但し、イギリスでは喜歌劇『ミカド (*The Mikado*)』(1885) として知られています。「宮様、宮様、お馬んまの前にピラピラするのは何ぢやな。トコトンヤレトンヤレな」という歌詞です。
- 181) 日本のマンガやアニメは世界中で大人気ですが、イギリスではマイナーだと、どこかで聞きました。本当ですか？ イギリスにはマンガを楽しむ文化はないのですか？ ⇒ その通りです。イギリスで日本マンガは人気がありません。しかし2009年10月24日 (土) 付の朝日新聞夕刊に「日本漫画、大英博物館に大抜擢」と大見出しがあります。よく読んでみると最終段落に「原画展は11月5日から2カ月間。朝日新聞が改修に協力したことから『朝日新聞ディスプレイ』と名づけられた展示室が会場になる。」とあります。これはつまり朝日新聞社が大英博物館への巨額の資金援助の見返りに自社の名を冠した展示室を設けることを許されたわけですが、大英博物館が得意とする古代史に関連しているという触れ込みで日本マンガを宣伝しているだけのことです。現地での人気とは無関係です。私が見たところ、日本マンガの鑑賞が盛んなのは、ヨーロッパ大陸諸国とアメリカと東南アジアだと思われます。一方、マンガの創作が盛んなのは、アメリカ、ベルギー、日本です。しかしながらイギリスはチェコと並んで、土くれ (clay) の人形を使った実写アニメ clay animation が盛んです。『ポストマン・パット (*Postman Pat*)』や『ウォレスとグルミット (*Wallace & Gromit*)』 (正しくは「グルミット」ではなくグロミットながら、邦題ではグロイ語感を避けた) は、世界的に有名な英国製クレイ・アニメーションの傑作です。
- 182) 車の左側通行の他に日本がイギリスに倣ってやったことの例を挙げてください。⇒ 例えば洋風建築です。1914年12月20日 (木) に開業した東京駅の赤煉瓦駅舎は、英国人「コンドル先生」ことジョサイア・コンダー (Josiah Conder, 1852-1920) に習った辰野金吾 (1854-1919) と葛西萬司 (1863-1942) が設計しました。英国18世紀初頭のクィーン・アン様式の強い影響を受け

た外観（本稿執筆時、復原工事中）が特徴的で、よく見ると、一部プラットフォームの古い柱にも英国風の意匠の痕跡が残っています。尤も大正後期や昭和戦前期になると、日比谷公会堂のようなドイツ風の建築も無視できませんが。また、日本の赤い郵便ポストや郵便局の赤い車も、英国の真似です。ヨーロッパ大陸諸国ではオランダやデンマークなど一部の例外を除き、郵便ポストも郵便局の車も真っ黄色です。しかし電気に関しては、日本はアメリカの真似をしています。日本ではプラグの形がアメリカ式の平刃タイプ（但し、アメリカより若干小ぶり）で、電圧は世界最低レベルの 100 ボルト（アメリカは 120 ボルト）です。交流の周波数は東日本と西日本で異なっており、東日本ではヨーロッパ式の 50 Hz、西日本ではアメリカ式の 60 Hz となっています。これに対してイギリスではプラグの形がイギリス独自の角 3 ピンで、電圧は世界最高レベルの 220-240 ボルトであり、交流の周波数はヨーロッパ式の 50 Hz です。イギリス式の電気方式は、アジアやアフリカの旧大英帝国で今でも使われています。また、テレビ・ビデオの方式も日本はアメリカの NTSC 方式を採用しています。世界にはこの他にイギリスの PAL 方式を採用している国と、フランスの SECAM 方式を採用している国があります。方式が違うのでイギリスで買ったビデオを日本のビデオデッキで再生することはできません。どうしても視たければ変換機が必要です。しかし DVD の世界では、北米が Region 1（第一地域）で、日本と（英国を含む）欧州は Region 2（第二地域）です。イギリスで買った DVD を日本で視聴するには、パソコンでのみ再生が可能です。DVD デッキの再生信号システムも日本が NTSC で、イギリスが PAL だからです。話は変わりますが、イギリスの国旗は世界に大きな影響を与えましたが、日本には影響を与えていません。

183) 1902 年に当時世界最強のイギリスが貧しい新興国の日本と同盟を結んだのはなぜですか？
⇒ 1899 年から 1901 年にかけて清国（現在の中国）で義和団事件（the Boxer Rebellion）が起こり、列強各国は軍隊を動員して反乱の鎮圧や自国人の居留民保護に当たりました。しかしイギリスは当時、南アフリカで展開していたボーア戦争（最近の世界史教科書では「ブール戦争」；the Boer War, 1899-1902）に忙しく、反乱鎮圧も英国人の保護も他国の軍隊に頼りがちでした。ここで白人居留民の生命を守り、大活躍したのが日本軍でした。英国に於ける日本の評価が一気に上昇しました。また、ロシア帝国のアジア侵出を恐れていた日英両国の利害が一致したため、イギリス主導で 1902 年 1 月 30 日（木）、英京倫敦にて日英同盟条約が調印されました。そして、1923 年 8 月 17 日（金）に正式に失効しました。

184) 高校の授業では日英同盟までの日英関係しか習っていません。その後の日英関係について知りたいです。⇒ 現在の日英関係は、政府間のレベルでは良好です。日英ともに世界でそこそこの影響力を行使し、米国の子分として情けない役回りを演じています。しかし国民レベルでは、日本人の想像を絶するほどの反日感情がイギリスには渦巻いています。イギリス人は戦争のことを決して忘れようとしません。イギリス人はドイツについてはヨーロッパ共通の価値観に基づくパートナーとして認知しているようですが、日本については違和感を抱き続け、戦時中の日本軍の残虐行為が許せないでいるのです。ナチス・ドイツが無条件降伏した 5 月 8 日は VE-Day（Victory in Europe Day ヨーロッパ戦勝記念日）と呼ぶのに対して、大日本帝國が無条件降伏した 8 月 15 日は VJ-Day（Victory over Japan Day 対日戦勝記念日）と呼んでいます。この呼び方の違いにイギリス人の態度がよく表れています。8 月中旬は議会在が休みで大したニュースもないた

め、英国マスコミが好んで取り上げるテーマが、日本軍の残虐行為や、戦後も反省していない日本の元軍人の話です。マスコミの日本叩きは戦後数回にわたって波を打つように激しくなりました。一度目は1971年10月5日(火)～8日(金)に昭和天皇(イギリスではHirohito)が実に50年ぶりに訪英したときです。極悪戦争犯罪人 Hirohitler (または Hiro-Hitler) などと難癖をつけられ、天皇の乗った車列は50年前の1921年とは打って変わり、在英邦人以外は誰も歓迎しない有様でした。そして天皇が記念植樹した杉の木は、ほどなく何者かによって切り倒されました。二度目は1988年9月19日(月)の昭和天皇危篤から翌89年1月7日(土)の天皇崩御および2月24日(金)の「大葬の礼」のときです。「戦争犯罪人が裁きも受けずによくぞ今まで生きながらえたものだ」と、約半年にわたって日本叩きが持続しました。歴史的な長さの日本叩きでした。私はイギリス人のしつこさには啞然としました。イギリス政府は誰を葬儀に参列させるか揉めに揉めて、結局は女王の夫君エディンバラ公フィリップ殿下(数々の失言で名を馳せた人ですが、人気もあります)が日本に派遣されましたが、帰国後に、「私は天皇の棺に一礼するのを拒んだ」と記者たちに語りました。三度目の波は1995年8月15日(火)の第二次世界大戦終結50周年記念でした。またもや日本軍の残虐行為がマスコミによって喧伝され、日本軍によって抑留された英国女性たちを描いたBBCの人気テレビドラマ『点呼(Tenko)』(1981-85)が再放送されました。この時は村山首相(当時)の「個人的な談話」(いわゆる村山談話)の中に、過去に日本が執った行為に対する謝罪と反省の言葉があったのが、イギリスで一定の(但し、控え目な)評価を受けました。しかし記念式典にドイツ政府が招待されても、日本政府は無視されました。四度目の波は、1998年5月26日(火)～29日(金)の今上天皇(イギリスではAkihito)による天皇即位後初の英国公式訪問でした(但し、英国到着は5月25日(月)のこと)。このときは元捕虜(former PoWs)や戦時民間人抑留者(civilian internees)たちが沿道を陣取って天皇に背中を向けて野次を飛ばしました。彼らは(ころころ代わる総理大臣より)天皇こそが日本を代表する存在だと思い込み、日本政府に完全な謝罪と賠償金の増額を要求したのです。天皇は女王やブレア首相(当時)を前にした公式スピーチの中で、イギリス人が被った苦痛への「深い悲しみと心痛(deep sorrow and pain)」を口にしましたが、一部のイギリス人たちは、「これは謝罪とは言えない」と怒りました。BBCは飽くまでも客観的に、「天皇は日本国憲法の制約上、非政治的な存在なので、謝罪を口にすることはできない」と説明しました。ウェールズでは天皇皇后両陛下の訪問に抗議した元軍人が、「ウェールズ公国の神聖な土壌が、日本皇帝によって汚染されている(The sacred soil of the Principality of Wales is being polluted by the Emperor of Japan.)」と言ってウェールズ大臣(当時)のロン・デイヴィーズ氏に喰ってかかったり、「天皇を温かく歓迎しよう」と言ったトウニィ・ブレア首相(当時)のことを「気でも違ったのだと思う(I think he was out of his mind.)」などと言いました(1998年5月27日(水)のBBC World)。21世紀に入ると、日英両国は米国主導の「テロとの戦い」という共通テーマを見出したため、ソ連を共通の仮想敵国とした冷戦時代以上の歩み寄りが見られます。イラク南部バスラ近郊に派遣された陸上自衛隊(英国マスコミは「日本陸軍」と報道)が英国陸軍に守られながら復興支援活動を行なったことは記憶に新しいところです。また、1942年に日英両軍が戦った激戦地シンガポールの地で、日本の防衛大臣が定期的に英国・米国・豪州・シンガポールを含む各国防衛大臣との防衛相会談に臨んでいるのは感慨深いものがあります。

185) ウェールズで天皇皇后両陛下の訪問に抗議した元軍人が、天皇のことを非難して「ウェールズ公国の神聖な土壌が、日本皇帝によって汚染されている (The sacred soil of the Principality of Wales is being polluted by the Emperor of Japan.)」と言ったり、トウニィ・ブレア首相 (当時)のことを「気でも違ったのだと思う (I think he was out of his mind.)」などと言っていました。紳士の国なのに、そんなひどい言葉づかいをする人がいるとは驚きです。⇒ 日本人は「紳士の国」「英国紳士」の定義を勘違いしています。相手の階級に関わらず何でも言いたいことを言うのが、紳士淑女を含めて英国人なのです。日本のような「放送禁止用語」もありません。『学苑』817号の拙論「訪日・滞日イギリス人のカルチャーショック」の事例124番でも軽く触れておきましたが、日本は異常な言葉狩りの国です。たとえば、イギリスで堂々と使用されている blind (めくら), deaf (つんぼ), mute (おし), lunatic または俗語で looney (きちがい), 挙句の果てには beggar (乞食) といった大昔から受け継がれてきた単語を日本では禁止して、それぞれ視覚障がい者 (元来の「障害者」は戦後の漢字制限に引っかかって「障害者」になり、平成の世では「害」の字が言葉狩りに引っかかって「障がい者」に変身) または目の不自由な方、聴覚障がい者または耳の不自由な方、口のきけない方または発話の不自由な方、知的障がい者、ホームレスまたは路上生活者という具合に気色悪い婉曲話法 (euphemism) が用いられています。これは1990年代以降、「政治的正しさ (PC: political correctness)」が盛んなアメリカ社会以上の危険度です。私は差別はいけないと思いますが、日本やアメリカで着々と進行する言葉狩りにも反対です。イギリス社会はまだ健全です。

186) イギリスの反日感情に地域差はありますか? ⇒ はい。あります。イングランド東部のケイムブリヂ (Cambridge) 県 (または州) からイースト・アングリア (East Anglia) 地方にかけての低地地帯や、イングランド北西部のランカシャー (Lancashire) 県 (または州) は、日本軍の残虐行為を直接知っている人が多いため、反日感情が強いです。しかし連合王国の首都にしてイングランドの首都ロンドン (London), ウェールズの首都カーディフ (Cardiff), スコットランドの首都エディンバラ (Edinburgh) に、反日感情をもった人々が集まって来るのも事実です。マスコミにアピールするには首都が便利だからです。話は変わりますが、かつての日米戦争の影響でアメリカにも反日感情の強い州があります。たとえば中西部のインディアナ (Indiana) 州や、南部のテネシー (Tennessee) 州です。アメリカの悪徳弁護士は、三菱自動車のような在米日系企業の元社員 (女性) がセクハラ裁判を起こす際には、決まってこれらの反日的な州の裁判所で訴えを起こします。その方が勝ち目があるからです。

187) イギリス人の反日は、日本や日本人そのものへの反感ですか? それとも戦時中の行ないに限定した感情ですか? ⇒ 60年以上前に起こってしまった日英戦争のせいで、日本に反感を抱いている人も多数存在します。反日の人は日本のすべてが嫌いなのです。1996年にウィリアム・シェイクスピアの生誕地ストラトフォード・アポン・エイヴォン (Stratford-upon-Avon) を訪れた際、民宿風ホテル (bed & breakfast) のダイニングで朝食を摂っていると、周りの客の全員が旧敵国の英米豪の白人年配者であることに気づきました。今は平和な時代で良かったと内心思っていたところ、この中で一番若そうなイギリス人の初老の紳士がこう切り出しました。「あなたは日本から来たのですか。私は1942年当時まだ子供でしたが、最後の船でシンガポールから脱出しました。もしあのとき日本軍に捕まっていたら、どうなっていたことか」と。周りの老人た

ちは話すのをやめ、食堂には緊張感が走りました。この若い日本人がどういう態度に出るか見てやろうと、皆が私に注目しました。私はすかさず立ち上がり、「私たちは50年前に一つの教訓を得ました。私たちはとても変わりました。こんな風に (We learned a lesson fifty years ago. We have changed much—like this.)」と言ってニコッとお辞儀しました。すると老人たちは安心して、何事もなかったかのように食事と談笑を再開しました。また、1990年代半ばにイギリスに居た頃、親しくしていた元一般医 (GP: general practitioner) のお爺さんに Dr Scott という人がいました。彼は日英戦争のビルマ戦線に軍医として従軍した経験があり、戦後も日本人のことがどうしても許せなかったそうです。娘さんの話では、1960年代以降、イギリスにも日本の電化製品が大量に入ってくるようになって、絶対に日本製をつかまされないように用心しながら生活していたとのことでした。それが今ではあなたのような日本人を自宅に呼ぶなんて信じられないとのことでした。反日をやめるきっかけになったのは、1970年代初頭に地元のロータリークラブの会長をしていた折、2人の若い日本人留学生を受け入れる羽目になった時のことでした。当初は内心「日本人だなんて嫌だな」と思っていたのですが、アメリカのロータリー本部の命令だったので、仕方なく受け入れました。しかし実際に若い日本人に接してみると、今まで抱いていた悪感情が吹き飛んだとのことでした。いつまでも憎しみを抱き続けるのは間違っていると悟ったそうです。そのスコット博士も21世紀を見ぬうちに他界しました。

- 188) 「日本軍に捕らえられて残虐な扱いを受けた元捕虜の人々が、英国政府から和解金を受けた」と2001年のニュースステーション (テレビ朝日) でやっていましたが、なぜ日本政府ではなく、英国政府が支払ったのですか? ⇒ 小菅信子『戦後和解』(中公新書, 2005) pp. 159-160 を一読ください。「新たに発見された資料によって、一九五五年に日本政府が戦争中抑留したスイス人に二〇〇〇ポンドを支払ったとき、英国政府には、サンフランシスコ講和条約第二六条 (日本国が、いずれかの国との間で、この条約で定めるところよりも大きな利益をその国に与える平和処理又は戦争請求権処理を行ったときは、これと同一の利益は、この条約の当事国にも及ぼされなければならない) によって、対日賠償交渉を再開する権利が生じていたことが判明した。(中略)。補償請求派は『今からでも日本政府にクレームを』と迫ったが、英国政府は拒絶した。/これを契機に、対日補償請求派は、日本政府ではなく、英国政府に対して補償を迫ることに方針を変えた。このとき、あいだに立ったのがメイリンズであった。/メイリンズはブレアと直接会見し、英国政府が日本軍の元英軍捕虜あるいはその配偶者に対して一万ポンドの『特別慰労金』を支給するよう働きかけるキャンペーンを進めた。『特別慰労金』支給は二〇〇〇年十一月に発表された。(後略)」とあります。しかしこの特別慰労金は、英国政府が全額支給するにしてはあまりにも不自然であり、実は陰で日本政府や、英国に進出している日本企業が資金提供したという噂もありますが、真偽のほどは分かりません。噂が本当だとすれば、英国政府も日本政府も日本企業も三者三様に自らの面子を保ったと言えます。高尾慶子『許すか NO か イギリス・ニッポン 57年目の和解』(展望社, 2003) p. 54 にはこうあります。「二〇〇〇年十一月、英国政府は、日本軍元捕虜の日本への激しい抗議を静めるため、一人一万ポンド (約二百万円) の補償金を支払った。この金が日本政府から秘密裏に支払われたものか、英国人の税金から支出されたものか、真実は闇の中だが、エリザベス女王は、その前年、ニュージーランド訪問の折、マオリの人々に迷惑をかけた英連邦の女王として謝罪し、補償金を全マオリの人々に支払った」とあります。

- 189) 日本軍が英国人捕虜に与えた仕打ちは酷かったのですが、そもそもイギリス軍が東南アジアに部隊を展開させていたこと自体がアジア侵略であり、日本軍は白人の支配からアジア人を解放したのではないのですか？ 東南アジアに居たイギリス軍の兵士は侵略者なのですから、罰として酷い扱いを受けたのも仕方がないではありませんか？ ⇒ 確かに結果だけ見ると、第二次世界大戦後、東南アジア諸国は白人国家から独立を果たしました。しかしこの論を鵜呑みにすると、戦時中の大日本帝國や現在の右翼団体の政治宣伝（プロパガンダ）に騙されることになります。また、日本人捕虜に対して最長で11年も極寒のシベリアで強制奴隷労働という仕打ちを与えたソビエト連邦の悪事を正当化することにもなります。ソ連曰く、満洲（現在の中国東北部）に於いて我が物顔で威張り腐っていた日本人侵略者を、罰として手ひどく扱うのは当然だとの理屈です。これには日本人として怒りを覚えませんか？ 日本の年配者がソ連・ロシアを憎むのと同じ理由で、イギリスの年配者は日本を憎むのです。イギリス人にとっての日本は、日本人にとってのソ連のような存在なのです。しかしロシア連邦のエリツィン大統領（当時）は、既に日本政府や日本国民に対して公式に謝罪しています。尤も賠償金は払っていませんが。
- 190) 日本軍が英国人捕虜に与えた仕打ちは酷かったのですが、英軍だって日本人捕虜を取って働かせたのだから「お互い様」ではないのですか？ ⇒ はい。確かに英軍も日本人捕虜を人足として使役しました。しかし日英戦争の場合は「お互い様」ではなく、日本側が圧倒的に巨悪で、それに比べてイギリス側は小悪です。悪にも程度の差があるのです。英軍の捕虜になった元日本兵の手記としては、京都大学の会田雄次教授（1916-97）が中央公論社（現、中央公論新社）から出したロングセラー『アーロン収容所』（中公新書 1962, 中公文庫 1973）の一読をお勧めします。勧めておきながらなんですが、私は著者の主張には同意しません。本来なら日本軍に向けるべき怒りの矛先をイギリス軍に向けているからです。誤ったルサンチマン（逆恨み）の著書です。しかしそのようなルサンチマンを抱くようになった思考の過程は実に興味深いものがあり、一読の価値があります。
- 191) 日本軍が英国人捕虜に与えた仕打ちは酷かったのですが、日本の非戦闘員もアメリカから原爆を落とされて、ひどい苦しみを味わいました。「日本人だって被害者だ」という配慮はイギリス人にはないのですか？ ⇒ いいえ。ありません。あの2発の原爆投下がなかったら、英国人捕虜や民間人抑留者は日本軍の防戦の足手まといだとして全員「処分」される運命にあったと彼らは信じています。大日本帝國は1945年7月～8月の時点で日本本土および占領地に於ける肉弾戦による防衛を計画していました。したがって日本軍に捕らわれていた人々の大部分は広島・長崎への原爆投下に今でも大賛成です。自分らに耐え難い苦痛を与えた日本人への「神罰」と考える者すらいます。ほんの少数の人のみが、日本の民間人（多くは女性や子供）の受けた苦痛を認識していますが、イギリス人もアメリカ人同様に大多数は原爆の使用はやむを得なかったし、あの当時としては正しい判断だったと考えています。日本人と英米人の意識の落差（gap）は埋まりそうにありません。高尾慶子『許すか NO か イギリス・ニッポン 57年目の和解』（展望社）p. 59にこうあります。「(前略) ここ英国では、まだまだ、日本への原爆投下は正しかったと、毎年、ヨーロッパ終戦記念日になると、新聞の投書欄で論じられる。それも戦争体験をした老人ではなく、青年・中年層の投書がそう断じ、主張するのだから驚く。/『あの原爆投下がなければ日本の天皇は降伏しなかつたらう。そして、私の祖父（または父）たちは東南アジアのジャ

ングルの中で残虐な日本陸軍の犠牲となり、母国帰還は実現しなかつただろう』という風な投書である。ここ英国では、核戦争に反対しながら、日本に向かって使用したことはまちがっていなかった (not wrong), という解釈が多数を占める」と。なお、欧米諸国の中では、当時日本と同盟国だったドイツだけが、原爆の被害について同情的です。ドイツも大戦末期に英米連合軍によるドレースデン爆撃という広島・長崎にも匹敵する被害を受けたからです。但し、ドイツ人が親日的かと言うと、そうでもありませんが。

192) 日本軍が英国人捕虜に与えた仕打ちは酷かったのでしょうか、イギリスは残虐行為をしていないと言い切れるのでしょうか？ 戦争をしていたすべての国々が悪いのに、イギリス人がなぜ特定の国だけを執拗に責めたてるのか理解できません。⇒ イギリスは確かにドイツに対しては「ドレースデン爆撃」という人類史上未曾有の戦争犯罪をおかしています。しかし日本に対しては何の負い目もありません。イギリスが一方向的に被害者だと認識しています。残念ながら、「戦争をしていたすべての国々が悪い」という論法は日本の外では全く通用しません。日本の常識は世界の非常識です。これは戦国武将の武田信玄が規定した「喧嘩両成敗」の考え方をもとに、戦後の文部省（現在の文部科学省）がこしらえた見解です。自国がやむにやまれず行なった戦争は正義の戦争だと信じていないのは、世界広しと言えども日本とドイツだけでしょう。イタリア人はファシストの扇動を挫き、途中から日独をうまく裏切って連合国側に加わり、英雄的な正義の戦いをしたと認識しています。しかしドイツの場合も戦争そのものへの反省は意外に少なく、ドイツ本国や占領地でのホロコースト（ユダヤ人の財産没収と移送と抑留と虐殺）への反省と謝罪が主です。そのためドイツは陸海空の軍隊と徴兵制を今でも維持しています。また、隣国のスイスはとてつもない軍事国家（高度国防国家）です。皆さんも日本の外に出てみると、日本人の考え方がいかに「甘ちゃん」か思い知らされます。

193) 映画 *To End All Wars* (邦題『エンド・オブ・オール・ウォーズ』) (2001) を観て衝撃を受けました。しかしあのような映画やBBCの『点呼 (*Tenko*)』(1981-85) などのテレビドラマを繰り返し上演・放映することで、日本に対する憎悪が増幅されるのではないですか？ ⇒ これは難しい問題です。日本に対する憎悪という面も否定できません。しかしこの映画は、キリスト教の信仰と、そこから来る赦しをテーマにしています。「父よ、彼らを赦し給へ、その爲す所を知らざればなり。(Father forgive them, for they know not what they do.)」というキリスト磔刑の際の言葉（『新約聖書』「ルカ伝」23章34節）が根底にあります。制作者の意図は赦しですが、視聴者の反応は人それぞれです。アマゾンの各国サイト（たとえば www.amazon.co.jp や www.amazon.co.uk や www.amazon.com）のDVD映画評を読めば、様々な意見があるのが分かります。なお、高尾慶子『ぼやきつぶやきイギリス・ニッポン』（文春文庫、2008）p. 286によれば、2008年1月に英国放送協会（BBC）は5度目の *To End All Wars* のテレビ放映をしたそうです。同じく高尾慶子『許すか NO か イギリス・ニッポン 57年目の和解』（展望社）p. 98によると、この映画の撮影に参加した日英米の俳優やスタッフが、明日は壮絶な拷問のシーンだという前の晩に、皆で仲良くバーベキューをして騒いだそうです。そんな話を聞くと救われた気になりますね。

194) イギリス人は戦争を知らない若い人も反日なのでしょうか？ ⇒ そうでもありません。どちらかと言うと単に無関心な感じですが。しかし「これから日本へ行く」とか「日本に住んで働く」と言ったら戦争体験のない親にいやな顔をされたという話はときどき耳にします。

195) 若いイギリス人は日本に対してどんなイメージを抱いているのでしょうか？ ⇒ 若い世代も日本人に対して戦争当時から残虐なイメージを抱く一方で、それとは正反対なおとなしくて従順なイメージや、メガネをかけたサラリーマンや、小さくてお洒落なソニー製品に代表されるようなハイテクのイメージがあります。

196) イギリス人は日英の違いばかりを強調している印象を受けますが、それでは日英には共通項はないのでしょうか？ ⇒ 実は共通項もたくさんあります。しかも良いことづくめです。具体例を挙げましょう。

* 美しい四季がある。

* 水道の水がそのまま飲める。

* 安全な公共交通機関が運行されている（ちなみにアメリカではボストンやサンフランシスコなど一部の文化都市を除いてありえない話）。

* 一般人が無料で安全にトイレを使用できる（但し、ロンドンの繁華街は有料）。

* 店に入って何も買わずに出てきても大丈夫。

* 店員が釣り銭をごまかさない。

* 物価が比較的安定している。

* 手頃な価格で、誰でも様々な娯楽が安全に楽しめる。

* 誰でも銀行に口座を開くことができる。

* 誰でも安く医療が受けられる（ちなみにアメリカでは夢のような話）。

* 世界中の書物が自国の言語にきちんと翻訳され、書店や図書館に並び、民衆に読まれている。

* お偉方を痛烈に批判しても罰せられない。

* 差別が比較的少ない。

* 私立のみならず公立の学校にも制服がある。

* 警官に道を尋ねれば、親切に教えてくれる（日英両国の際立った特徴）。

* 路上で警官に呼び止められても何の心配も要らない。

* 拳銃を使った凶悪犯罪が少ない。

こうして見ると、日英両国は基本的な価値観を共有していることが分かります。

197) 第一次世界大戦の記念碑などに見られる赤い芥子（poppy）の花の由来は何ですか？ ⇒ ベルギーの西部戦線で英仏連合軍がドイツ帝国軍と激しく衝突し、数万人の死者を出しました。20歳にも満たない若者も多く含まれています。上流階級の男性も率先して戦ったので、たくさん死にました。そのたくさんの人の血を吸った戦場で、戦闘後に赤い芥子の花が咲き乱れました。そんなことから芥子は戦没者追悼の象徴になりました。日本ではさしずめ千羽鶴でしょうか。

198) 英国空軍は「王立空軍（RAF: Royal Air Force）」だそうです。イギリスの軍隊はすべて「王立（ロイヤル）」なののでしょうか？ ⇒ いいえ。陸軍（Army）には「王立（ロイヤル）」の称号はつきません。単なる「英国陸軍（British Army）」です。これは歴史的には17世紀、王党派と敵対した議会派の軍隊の流れを汲んでいるからです。しかしチャールズ皇太子の次男 Prince Harry（但し、日本では「ヘンリー王子」）は陸軍士官です。他に海軍は「王立海軍（Royal Navy）」です。エリザベス女王の次男ヨーク公 Prince Andrew は海軍士官として1982年のフォークランド戦争（または紛争）に従軍しました。

199) イギリスはイラクやアフガニスタンで平和維持活動（PKO）をしているのに、いまだに核兵器

を保持しているのは矛盾していると思います。⇒ 不愉快に思われるでしょうが、この論理は日本でしか通じません。日本の常識は世界の非常識なのです。英米人もフランス人もロシア人も中国人も「核」という禁じ手を持っているからこそ、平和を維持できるのだと考えています。『学苑』817号の拙論「訪日・滞日イギリス人のカルチャーショック」の事例232番にも書きましたが、日本は戦後一貫してアメリカの「核の傘」に守られておきながら、毎年8月になると総理大臣が「唯一の被爆国」として「核兵器の廃絶」を唱えるのは白々しい、と滞日イギリス人をはじめとした外国人は感じています。

- 200) イギリス人は個人レベルの友人としては楽しい人たちですが、会社や役所などの職場で、いざ日本人が指導的な立場に就くと臆面もなく蹴落としかかると聞いていますが、本当ですか？
⇒ はい。残念ながら、かなり当たっています。イギリス人は一般的に上司としてはそこそこ優秀ですが、部下にイギリス人をもつと、言うことを聞かせるのが大変です。そして日本人はその正反対です。日本人は命令を聞いて実行することには慣れていますが、命令を下すのはヘタです。イギリス人はプライドが高く、命令を聞くことに違和感を覚えます。イギリス人には日本人の奴隷根性 (servitude) が信じがたく、日本人にはイギリス人の自由やプライドの溺愛や、お上への反逆精神が解せないのです。日本人には「自由」に伴う「責任」も荷が重過ぎます。ところで日本人は東大の偉い先生が特別講演にやってきた場合、何も質問しないか、せいぜい挙手したとしても、お世辞ばかりで何も反論しません。しかしイギリス人は中高生でも Oxbridge の偉い先生に平気で議論を吹かけます。国民性の違いは殖民地経営にも見られます。殖民地をうまく経営できるか否かは、犬の飼い方を見れば分かります。日本人は犬に引っ張られて散歩し、犬は日本人飼い主の言うことを聞きません。飼い主以外の人間に対するマナーも最悪です。イギリス人の犬の飼い方はその正反対です。日本に支配された国の人々が文句ばかり言っているのに対して (但し、台湾人は例外)、インドやマルタ島をはじめとした、かつてイギリス帝国だった国の人々はイギリス人を尊敬し、「どうせ殖民地になるならイギリスがいい」とまで言い切ります (但し、アイルランド人は例外)。しかし私はここでイギリス人をベタ褒めする積もりはありません。彼らは人に使われる部下としては最悪だからです。イギリス人上司・日本人部下の組み合わせは成功しますが、その逆は失敗します。これは捕虜収容所でも同様のことが言え、日本軍支配下でイギリス人捕虜や民間人を抑留すると失敗します。ロンドンの会社の話に絞ったデンゾー高野著『私の部下はイギリス人 アングロサクソンが世界を牛耳っているわけ』(太陽企画出版, 2006) や、渡辺幸一著『イエロー 差別される日本人』(栄光出版社, 1999) を一読されてはどうでしょうか。

- 201) インターネットの YouTube は、無断転載の著作権違反など違法なイメージがあり、嫌う人もいます。イギリスではどんな受け止め方をされていますか？ ⇒ 日本と同じで賛否両論ですが、今では賛同者のほうが多いでしょう。驚いたことに、2007年12月、英国王室は YouTube 内に “The Royal Channel” (<http://www.youtube.com/user/TheRoyalChannel>) という公式サイトを持つに至りました。このサイトにアクセスすれば、王族の公式スピーチの数々を無料で聞くことができます。

- 202) 欧米の住居では靴を履いたまま生活していると聞きましたが、やはりイギリスでも同じですか？
⇒ はい。そうです。イギリス人は屋内で靴を脱ぐのが好きではありません。ましてや他人に靴を履いていない姿を晒すのは、裸で人前に出るのと同じように恥ずかしいと考えています。1975

年に訪日した女王エリザベス二世が日本のお寺で靴を脱いだのがイギリスでは大きなニュースになりました。女王はその後、インドの宗教施設でも現地の習慣を尊重して靴を脱ぎました。イギリス人は女王のみならずほぼ全員が家の中でも靴を履いています。特にディナーの席で靴を履いていないのはマナー違反ですので、イギリスの父親はそのような子供を厳しく叱ります。一方、ヨーロッパ大陸の若い世代では自宅で靴を脱ぐ人が増えています。

- 203) イギリス人は夜寝るときでも靴を履いたままなのですか？ ⇒ いいえ。昔の日本には、そのような話が^{まこと}実しやかに飛び交っていました。さすがのイギリス人もベッドに入る時だけは靴を脱ぎます。ベッドはプライベートな場所だからです。また、ここ十年ぐらいは日本式の futon（イギリス人は「フートン」と発音）も流行しています。
- 204) イギリスでは窓を開けて生活するというのは本当ですか？ ⇒ いいえ。違います。誤解です。イギリスやオランダの上流や中産階級ではカーテンをつけない、或いはつけたとしても昼間は開けておくということです。窓を開けっ放しにするわけではありません。
- 205) イギリス人は改善を嫌い、伝統に固執すると聞きましたが、どんな不便にも耐えるのでしょうか？ ⇒ はい。中長距離の鉄道ではいまだに手動式のドアが健在です。家庭の水道の蛇口は熱湯と冷水で分かれたままで、しかも蛇口が縁につきすぎているので、手を洗うのも大変です。
- 206) イギリスの洗面台の蛇口は熱湯と冷水が分かれています、しかも蛇口の管が短くて使い勝手が悪そうですが、イギリス人は改良しようという気はないのですか？ ⇒ 残念ながら、改良や改善には背を向けて不便を厭わない伝統主義者がイギリス人なのです。頑固な人たちです。その反面、意外なことにイギリスは発明家の国でもあります。特に蒸気機関と鉄道の発明は世界の歴史を変えました。
- 207) 或るテレビ番組で、「イギリス人は食器や自分の体を洗う際、洗剤を流さないで泡ごと布で拭いてしまう」と聞いたのですが、本当ですか？ ⇒ はい。残念ながら本当です。イギリスに居た頃、共同の台所で食器を洗うことがよくありましたが、イギリス人はきちんと泡を濯がずに布で拭いてしまうのです。注意すると、「イギリスの洗剤は無害だから心配するな」と言われてしまいます。これには他のヨーロッパ諸国の学生たちも呆れていました。一方、入浴に関しては、シャワーなしの浴槽だけの風呂場の場合に「泡をきちんと流さずにヌルヌルした体をタオルで拭いてしまう」という原則が当てはまります。実際、今でも労働者階級や「中の下」階級の家は、浴槽の蛇口に安っぽいビニール製の簡易シャワーを自分の手で取り付けただけの構造が多いので、泡を完全に洗い流すのは難しいです。イギリス人は一般に節水を心がけていて、泡が残っていても拭けば大丈夫と考えています。文化の違いですね。
- 208) イギリスの中産階級の風呂場に絨毯が敷き詰めてある写真を見て驚きましたが、カビの心配はないのですか？ ⇒ 日本ほど高温多湿ではないので、それほどカビは生えません。しかし黒ずんだ場合はカーペットクリーナーで洗浄したり、ひどい場合は全部張り替えです。
- 209) イギリスの家は完成から百年以上経過した建物でも、自分で直して使うそうですが、何年ぐらい持つのでしょうか？ 現在も人が実際に住んでいるイギリス最古の家は、何年前の家ですか？ ⇒ 良い物件は千年ぐらい持ちます。実際、私が泊めてもらった中で一番古い家は、約900年前の家です。しかし建物全体が900年経過しているわけではなく、様々な時代の建築がごちゃごちゃになっています。それでも統一感はとれています。床がギシギシ軋むのと、一部の部屋の天井が低

いのが困りました。私でも天井の柱に頭をぶつけてしまいます。

- 210) イギリスの家は煉瓦造りが多いようですが、耐震性に問題はありますか？ ⇒ イギリスでは千年に一度ぐらいしか大地震が起きません。それでも西洋の煉瓦造りや石造りの家は、日本の一般庶民が暮らしている「木造在来工法」(材木の柱と鉄釘に頼った工法)の家よりも頑丈です。日本の建物で本当に耐震性があるのは、一級建築士がきちんと構造計算した鉄筋の建物と、アメリカの特許を使った「木造ツーバイフォー(2×4)工法」の家と、近代以前の仏閣(例えば法隆寺)と、江戸期や明治期に釘に依存せず良質な乾燥木材を使って建てられた頑丈な木造建築と、明治から昭和初期までの煉瓦造り(日本銀行本館の内側やJR中央線の高架下など)だけです。「木造在来工法」の家は危険であることが1995年1月の阪神・淡路大震災で実証されましたが、日本政府(特に国土交通省と経済産業省)は国民のパニックを避けるため、大々的な発表を控えています。
- 211) イギリスの一般の民家に完成した時の年号を記したプレートをつけるのは、何か特別な意味があるのですか？ ⇒ 大した意味はありません。ただ、或る程度のお金を掛けた家には銘板をつけることがあります。19世紀から20世紀初頭にかけて流行しました。一方、日本の民家は30年もしないうちに取り壊すのが前提なので、プレートをつけないのでしょう。しかし日本でも鉄筋の役所や企業や雑居ビルには、「定礎 昭和六十二年」や「平成三年竣工」のような石の銘板が入口附近下方にしばしば見られます。
- 212) ロンドンの住宅街の写真を見ましたが、車道の片側が車で埋まっているのが気になりました。すぐく通りにくそうです。イギリスの住宅街は、どこもあのような感じですか？ ⇒ 確かにイギリスの住宅街は、だいたいどこもあのような感じです。しかし違法駐車ではなく、当局の許可を得て駐車しています。一方通行の道路の片側に並んでいるので、通行障害になることもありません。
- 213) 「中の下」階級や労働者階級の家々は隣とくっついていると聞きましたが、アパートでもないのに、くっついているということですか？ ⇒ はい、そうです。このような家を terraced house (テラスト・ハウス; 長屋) といいます。国民の大多数はこうしたテラスト・ハウスに住んでいます。一軒家 (detached house デタッチト・ハウス) に住めるのはかなりのお金持ちです。他に中間的な存在として日本で言う「二世帯住宅」、英国でいう semi-detached house (セミ・デタッチト・ハウス; 略して semi) に住んでいる人も多いです。日本と違って赤の他人が一軒の家を壁で仕切ってシェアします。
- 214) 二世帯住宅の場合、赤の他人同士が一軒の家を壁で仕切って住んでいるという話を聞きましたが、他人同士で一緒に家を建てるということですか？ ⇒ いいえ、違います。あらかじめ出来合いの家の半分の権利を購入または賃借するのです。イギリスには新築の家はほとんど存在せず、既に百年ほど(或いはそれ以上)経過した古い建売住宅に住むことになります。イギリスでは古い物ほど価値があります。
- 215) お城に住んでいる貴族が居ると聞きましたが、電気や水道は通っているのですか？ ⇒ はい。もちろんです。ご心配なく。
- 216) お城や宮殿や大豪邸に住んでいる人も居るかと思えば、運河に浮かべたほしけぶね 船 (narrow boat) で暮らす人が居ると聞きましたが、さすがは格差社会ですね。⇒ 船にほしけぶね 住んでいる人が貧乏というわけではありません。変わり者だから船に住んでいるのです。

217) イギリスには舢舨船 (narrow boat) に住んでいる人が居ると聞きましたが、住所はどうなるのですか？ 手紙や新聞は届くのですか？ ⇒ 係留する権利を買っているのです、そこが公式な住所です。住所不定ではありません。したがって新聞も手紙も届きます。住所はたとえば次のような感じです。

*The Angel Boat

16-34 Graham Street

London N1 8JX

(郵便記号 N1 8JX 倫敦市グレアム街 16-34 番地 天使船)

*Beauchamp Lodge

453 Harrow Road

London W10 4RG

(郵便記号 W10 4RG 倫敦市ハロウ路 453 番地 美原宿)

という住所を見つけましたが、どちらも個人ではなく団体の住所です。通常は住所を見ただけでは船なのか普通の家なのかは判断できません。

218) イギリス人は幽霊の出る家が好きだと聞きましたが、本当ですか？ ⇒ 本当です。幽霊が出てくれた方が由緒ある館ということで、物件に付加価値が増します。幽霊の出るパブなどは、そのことを誇りにしています。私がランカスターに居た頃、時々呑みに行ったパブ The Golden Lion は、かつて死刑囚が刑の執行前に最後のビールを飲ませてもらった店です。しかしなぜか子供の幽霊が目撃されています。私は見ていませんが。なお、ランカスター城は 1196 年以来、今日に至るも刑務所として機能しています。かつては城で絞首刑が執行されていました。私にとって最も怖かったのは、1996 年 4 月のこと、英国湖水地方 (the Lake District) のアルズウォーター湖 (Ullswater) 近くのアイラの滝 (Aira Force) で、一緒に行ったイタリア人の女性が岩の上で足を滑らせて滝壺のある奈落到ちそうになり、救助に入った私を含む 5 人の若者も何か不思議な力で奈落の底へと突き落とされそうになった経験です。その力に逆らって何とか全員無事に帰ることができました。あとで大学の寮に帰って Pitkin Guide の該当するページを読んでみると、そこは、十字軍に従軍した婚約者の帰りを待ちわびる若い娘が毎日夢遊病で彷徨い、婚約者が戻った瞬間に目が覚めて滝壺に落ちてしまったという怖い伝説のある日くつきの場所でした。詩人ワーズワース (William Wordsworth, 1770-1850) も、この伝説を「アイリー滝の谷 (Airey-Force Valley)」という詩に書いています。また、著名なエッセイストで麻薬中毒者のド・クインシー (Thomas de Quincy, 1785-1859) も「アイリー滝の幽霊 (An Apparition at Airey Force)」という文章を残しています。当時この滝は「アイリー滝」と呼ばれていました。また、「滝」に相当する英単語は waterfall や falls の筈ですが、英国湖水地方では北欧から来たヴァイキングの影響で force と呼ぶことが多いのです。

219) イギリスに関する情報で、信頼に値するものはどこで入手できますか？ ⇒ まずネットでは英国大使館 (The British Embassy) の公式サイト <http://ukinjapan.fco.gov.uk/ja> を推奨します。このサイトからはブリティッシュ・カウンシル (The British Council) と英国政府観光庁 (BTA: The British Tourist Authority) へのリンクが貼られています。社団法人日英協会 (The Japan-British Society) の公式サイト www.japanbritishsociety.or.jp も優良なサイトです。しかしせ

かく東京の大学で勉強しているのですから、自分の足で飯田橋駅 B3 出口近くの研究社ビル（東京理科大の隣）1階ブリティッシュ・カウンスル（平日 10:00-20:30, 土曜 9:30-17:30, 日本の祝日 12:00-20:30, 日曜は休み）や、溜池山王駅 12 番出口近くの赤坂ツインタワー 1 階の英国政府観光庁（平日のみ 10:00-17:00）に行って資料を集めてください。上記の 2 つの機関の真ん中に位置している千代田区一番町 1 番地（半蔵門線半蔵門駅下車）の英国大使館の外観を見学に行くのも良いでしょう。但し、英国人との婚姻届や離婚届を提出する場合や、大使館員を取材・訪問する以外の用事で、日本国民が在日英国大使館に立ち入ることはできません（領事部査証部門は港区東新橋に新設された「英国ビザ申請センター」に移転済）。しかし 1929 年竣工の石造りの本館は、ロンドンのバッキンガム宮殿（Buckingham Palace）を想起させ、一見の価値があります。

おわりに

学生から寄せられた質問の一つひとつ回答することで、日英の相違点が浮き彫りになったように思う。階級や格差、教育、飲食や飲酒と喫煙、犯罪や法令、医療と健康問題、年中行事、結婚や離婚、女性、自然、観光、交通、政治、宗教、貨幣経済、度量衡、音楽、王室と皇室、日英関係を含む対外関係、反日感情、戦争と軍隊、国民性、生活習慣、住環境といった多岐にわたるテーマを扱った。イギリスという対称軸から日本の姿も見えてきた。

どのテーマを扱っても、イギリスと言えば階級というキーワードが頻出する。この問題は日本人にはなかなか見えにくいものである。昨今の日本では、広がりつつある格差が問題になるが、歴史や伝統に根ざした「階級」に比べて、何と薄っぺらな議論であろうか。しかし私はここでイギリス人の階級意識を手放して誉めそやす積もりはない。階級間の敵愾心、或いは無関心を装った態度は、国の発展や安寧秩序にとって好ましい結果をもたらさないからである。

たとえばイギリス企業では管理職と現場労働者の間にとてつもない不信感が横たわっている。会社の内でも外でも両者の間に交流は皆無である。管理職の考えでは、労働者は反抗的で怠け者であり、スキあらば仕事をサボるか、過激なストを決行しようとしている連中である。一方、労働者の側に言わせれば、管理職は自分たちを搾取することばかり考えている輩となろう。

勤務先が定まっている勤労者はまだ良い。職もなく、社会福祉で暮らす若者は飢え死にすることこそ（イギリスのような福祉国家では）なかろうが、やり場のない怒りを抱えているのも事実だ。このような者たちが落書きや器物損壊のような行為に走るのは、他人や公共の財産に対する敬意の欠如に起因する。

日本も他人事ではない。上記 60 番と 61 番に書いたように、日本社会でイギリス人が「1950 年代にタイムスリップしたような不思議な錯覚」を覚えるのだとすると、日本も今後、英国化の方向へ進んで行く可能性もある。確かにこの 21 世紀、昭和天皇存命の頃に比べれば皇室に対する「菊のタブー」も随分とゆるくなったように感じる。皇室への痛烈な批判や風刺ができるような「開かれた社会」への期待がある反面、落書きや薬物汚染の広がる社会、階級間の交流なき社会に対しては警戒する必要があるだろう。「近代国家の模範」のみならず、「他山の石」としてのイギリスも、ここに提示した次第である。

（はらだ としあき 文化創造学科）